

愛知縣勸業雜誌

第二十二号
第二十三号

14.1イ-23



14.1イ

23

愛知縣勸業雜誌
第二十二号
第二十三号



始



明治廿七年三月調

(不發賣)

愛知縣勸業雜誌

第二十二號

內務部

第三課編纂



愛知縣勸業雜誌第二十二號

目次

農事水產

明治廿六年各郡養蚕傳習場成績一覽表
同年各郡養蚕巡回教師ニ係ル成績一覽表
牛馬耕傳習成績

蠶漁業

大分縣下佐賀關漁者朝鮮海出漁ニ係ル調査

商事

關龍世界博覽會商况視察委員早川龍介報告書

共進會

關西水產共進會本縣委員復命書拔書

統計

愛知縣勸業統計一覽表甲

全乙

明治廿六年各郡

科 場名	教員氏名 及生徒人員	種類	飼育中	
			取上 月日	取中 月日
東春日井 郡私立養 蠶傳習場	教師 河田悦三郎 及 入場生 一五	青引	三八七	—
四春日井 郡平田養 蠶傳習場	教師 星野照二 幹事 加藤兵左衛門 及 入場生 一四	青引	八一	—
中島郡 寶田村 私立養蠶 傳習場	教師 牧 謙三郎 助手 橋田宗治郎 幹事 春田祐清 及 入場生 二〇	青引 青熟 白玉	八一 — —	— — —
碧海郡 養蠶 傳習場	教師 田村 俊平 幹事 鍋田 恒雄 副幹事 早川 庄助 及 入場生 一六	青熟 青引 又青 玉ノ緒	四八 — — —	— — — —
蠡豆郡 養蠶 傳習場	教師 菅野宇兵衛 幹事 外山常太郎 及 入場生 二九	青熟 赤熟	六八 —	— —
額田郡 養蠶 傳習場	教師 渡邊 一雄 場長 野村猪太郎 及 入場生 一〇	青熟 赤熟	— —	— —
東加茂 郡私立 養蠶 傳習場	教師 古屋 正 幹事 大河原新八 全 小島光治郎 及 入場生 一五	全 中巢	— —	— —
北設樂 郡名倉 村立 養蠶 傳習場	教師 鈴木 藤重 副教師 後藤 謙 場長 後藤次郎八 及 入場生 一三	全 中巢	— —	— —
南設樂郡 私立海老 養蠶 傳習場	教師 中島 嘉助 場長 山本權兵衛 及 入場生 一〇	全 又青	— —	— —
私立 寶飯郡 養蠶 傳習場	教師 岡田伊三郎 幹事 島山 岩吉 副幹事 竹内菊三郎 及 入場生 一四	井筒 中養 大和錦 大又 丸志保	— — — — —	— — — — —
澁美郡 養蠶 傳習場	教師 八卷大次郎 幹事 福井 佐平 及 入場生 一四	青熟 薄赤	— —	— —
八名郡 三上 養蠶 傳習場	教師 秋葉 泰藏 幹事 大林吉之助 及 入場生 一〇	青質 蠶蠶	— —	— —
合計	入場 一九〇 及 第一 一六五	計	—	—

牛馬耕傳習成績

明治廿三年度ヨリ地方税勸業費ヲ以テ一郡一ヶ所ニ限リ牛馬耕傳習場ヲ設ケ該事業ノ傳習普及計ルモノニ限リ公私ノ別ヲ問ハス補助費トシテ一ヶ年金五拾圓ヲ給與シタリ其ノ成績左表ノ如ク然シテ廿五年度ノ補助ニ係ルモノニシテ事業ノ廿六年度ニ跨リ未タ報告ヲ得ザルモノハ次回ニ

廿五年度 廿四年度 廿三年度

郡名	長立	牛	馬	生徒	試験成績	傳習	耕反別	生徒自家耕反別	教師人名	出願人
海東全	全	全	全	全	全	全	全	全	平手藤十郎	山中伍左衛
北設樂全	全	全	全	全	全	全	全	全	猿渡平四郎	伊藤吉
愛知全	全	全	全	全	全	全	全	全	近藤彦兵衛	成田斧次
東春日井全	全	全	全	全	全	全	全	全	深尾榮次郎	野浪愛之
寶飯民	全	全	全	全	全	全	全	全	鳥居長太郎	渡邊平内
計	全	全	全	全	全	全	全	全	鳥居長太郎	渡邊平内
海美全	全	全	全	全	全	全	全	全	近藤林	鍋田恒
津美全	全	全	全	全	全	全	全	全	山田虎藏	吉原祐太
北設樂全	全	全	全	全	全	全	全	全	梶田銀三郎	村上秋外
全	全	全	全	全	全	全	全	全	猿渡平四郎	伊藤吉
幡豆全	全	全	全	全	全	全	全	全	稻垣宗太郎	齋藤久之
八名全	全	全	全	全	全	全	全	全	桑原友右衛門	青山佐次
額田全	全	全	全	全	全	全	全	全	鈴木長次郎	鈴木平五
寶飯全	全	全	全	全	全	全	全	全	富田次郎十	野村榮喜
知多民	全	全	全	全	全	全	全	全	鳥居長太郎	渡邊平内
計	全	全	全	全	全	全	全	全	鳥居長太郎	渡邊平内
業丹連全	全	全	全	全	全	全	全	全	尾之内音松	早川甚之助外
北設樂全	全	全	全	全	全	全	全	全	梶田銀三郎	村上秋外
幡豆全	全	全	全	全	全	全	全	全	猿渡平四郎	原田甚八
幡豆全	全	全	全	全	全	全	全	全	山崎長次郎	井上儀兵衛外
愛知全	全	全	全	全	全	全	全	全	兒玉榮三郎	牧菊三郎外
八名全	全	全	全	全	全	全	全	全	井戸竹次郎	牧菊三郎外
東春日井全	全	全	全	全	全	全	全	全	近藤彦兵衛	近藤彦兵衛外
東加茂全	全	全	全	全	全	全	全	全	鈴木長次郎	鈴木平五
額田全	全	全	全	全	全	全	全	全	安藤國太郎	板倉林十
寶飯全	全	全	全	全	全	全	全	全	林圓吉	鈴木勇右衛
知多全	全	全	全	全	全	全	全	全	鳥居長太郎	竹田喜代三郎外
西春日井全	全	全	全	全	全	全	全	全	原田勝三郎	加古文
南設樂全	全	全	全	全	全	全	全	全	加古源五郎	井上久三郎外
西加茂全	全	全	全	全	全	全	全	全	小山庄作	小野田義緒外
計	全	全	全	全	全	全	全	全	富田次郎十	本多松三郎外

○大分縣下佐賀關漁者朝鮮海出漁ニ係ル調査

出帆ノ準備

一朝鮮海ニ出漁セントスルトキハ先ツ適當ノ漁船ヲ製造セサルヘカラス且ツ其漁船ニハ完全ノ船具ヲ備付シ而シテ漁具ノ最モ整頓スルヲ要ス今漁船漁具等ノ製造費額ヲ調査スルニ其見込大略左ノ如シ

沿海漁船大形 凡七十石積 壹艘

此製造費百六拾五圓

此付屬具調製費百參拾五圓

此漁具費貳百圓

合計五百圓

全中形 凡四十石積 壹艘

此製造費百圓

此付屬具調製費百貳拾圓

此漁具費百圓

合計參百貳拾圓

全小形 凡貳拾五石積 壹艘

此製造費七拾圓

此付屬具調製費五拾圓

此漁具費八拾圓

合計貳百圓

一漁船乗組人員ハ大概大船七人中船六人小船五人ヲ通常トス乗組員ハ身軀最モ強健ニシテ且ツ該業ニ熱心熟達ノ者ヲ撰ブヲ要ス
一乗組人員確定ノ上ハ船頭ノ注意ヲ以テ簡短ナル規約様ノモノヲ作り船員互ニ誓約ヲ爲スヲ例トス其文中ニハ博奕ヲ禁シ女ヲ近ツケサル等ノ條項ヲ設ケ若シ之ニ違背スルモノハ違約金若干圓ヲ出サシムル等ノコトアリ
一出帆前準備スヘキ漁具ノ品名及員數ハ大略左ノ如シ
但本項ニ掲ケタル漁具ハ中船ニ適スル員數ナレハ船ノ大小ニヨリテ増減アルモノト知ルベシ

品名	數量	代價
延繩(大)	五十貫乃至七十貫	拾圓乃至拾四圓

鎖	眞	四	十	貫	五拾圓乃至五拾六圓
釣	繩(小)	四	百	本	拾六圓
延	繩(小)	六		貫	拾貳圓
モ	リ	六		挺	壹圓貳拾錢
ア	イカギ	六		挺	壹圓貳拾錢
樽		貳	拾	個	七圓
桐	製浮	拾	八	個	貳圓
絹、粉、糸、並					凡參圓 <small>是レハ釣用ハ手當</small>
釣、鐵、鉛、共ニ					四拾錢 <small>小形釣用</small>
鐵		壹	貫	目	百貳圓八拾錢乃至百拾貳圓八拾錢
合金					

一食料其他需用品ノ準備ハ各船同シカラスト雖モ其内ニ就キ注意準備スベキモノノ概略左ノ如シ

一白米 五石余
但七八乗組一人一日ニ付八合宛凡三ヶ月分ノ見込

一醬油 二斗七升
但一日三合宛凡三ヶ月分ノ見込

一鹽 一斗入凡百俵
但魚類製造用準備

一酒 無定

一野菜 全

一薪 凡三十束
但薪ハ彼地價格低廉ナルヲ以テ渡航中ノ用量ヲ貯フノミ

一飲料水 凡十三日分ヲ貯フ
但渡航中薪水欠乏等ノ非常用ニ供ス

一韓錢 若干文
往來途中ノ有様

一近來該所漁人ノ専ラ出漁スル朝鮮海ノ漁場ハツツヤ島ト稱スル島嶼ニシテ佐賀ノ關港ヲ距ルヲ凡ソ四百五十里ト云フ晝夜順風ノトキハ出帆後四日乃至五日ニシテ若船スルヲアレモ通常ハ十日間ヲ以テ渡航ノ時日トス

一 歸國ノ航路ハ日數稍ヤ減縮シ其早キモノハ三晝夜ニシテ歸着スルコトアリ
 然レモ通例ハ七日ヲ以テ歸航ノ時日ニ充ツ
 一 薪水欠乏若クハ暴風等ノ故障アルニ非レハ途中更ニ寄港スルコトナシ
 一 渡航ノトキハ途中釜山ニ至リ税關ノ検査ヲ受ケ且ツ税金及手数料ヲ納メ
 テ鑑札ヲ申受ケ之レヲ携帶シテ漁業ニ從事ス其鑑札ハ一ケ年間効力ヲ有
 ス翌年尙漁業ヲ營マントスルキハ之ヲ税關ニ持參シ更ニ税金及手数料ヲ
 納レハ之ニ押印シテ再ヒ下付セラル其税額及手数料ハ左ノ如シ

三人乗以上四人乗迄	税金三圓	手数料貳拾錢
五人乗以上九人乗迄	全 五圓	全
十人乗以上十九人乗迄	全 拾圓	全

一 朝鮮國屬島中三島及草島(巨文島ノ沖)ト稱スル島嶼ハ天然ノ良港ヲ有スル
 ナレモ島民暴惡ニシテ爭鬪ヲ好ミ寄港船ノ物品ヲ掠奪スルヲ常トス濟洲
 島モ亦然リ故ニ是等ノ諸島ニハ寄港セサルヲヨシトス從來我漁民ノ之ヲ
 知ラスシテ寄港シ危難ニ罹リタルモノ少カラス該島暴民ハ理不盡ニ發砲
 シ小鎗様ノモノヲ擲ヘ或ハ瓦礫ヲ飛ハス等言語同斷ノ舉動ヲナスコトア

リト云フ注意スヘキコトナリ
 一 往復ノ途中薪水等ノ欠乏ヲ告ケタルキハ前項ノ三ヶ所ヲ除クノ外便地ニ
 寄港シ薪水相當ノ代價ヲ以テ購求シ飲水ハ多少魚類ヲ與ヘテ之ヲ貰ヒ受
 クルヲ例トス

朝鮮海滯在中ノ有様

一 朝鮮海滯在中ハ便宜ノ地ヲ撰ミ繫泊所ノ設ケナカル可ラス本所出漁者ハ
 近來ツシヤ島ヲ以テ繫泊所トスルモノ多シ
 一 繫泊所ハ常ニ漁船ヲ繫泊スルノ所ニシテ陸地ヲ借受ケ小屋ヲ掛ケ持込
 飯米、鹽、醬油、薪等ノ如キモノハ悉皆此小屋内ニ貯ヘ置キ出漁ノキハ僅カ四
 五日分ノ日用品ヲ積込ミ此地ヨリ出漁ス飯レハ皆小屋ニ入テ宿泊ス
 一 小屋敷料ハ半季壹貫文ノ定メニテ土地ノ村吏ニ之レヲ納ム
 一 出漁ノトキハ小屋番壹名ヲ殘シ置物品ノ看護及ビ漁獲物ノ製造ヲナサシ
 ム鱈鱈ヲ日乾シ鹽ノ鹽漬ヲナス等皆小屋番ノ負擔トス或ハ漁船二艘若ク
 ハ三艘ノ内ヨリ一名ノ小屋番ヲ置クモアリ
 一 漁場ハ繫泊地ヲ距ル凡七八十里ノ沖合ニシテ往復各一晝夜ヲ要ス

一出漁ハ往復共日數五日間ヲ通例トス
 一 鱧魚ニ用ユル餌ハ多クもち魚及他ノ雜魚ヲ用ユルナリもち魚ハ其形鱧ニ似テ口ニ髭アリ且ツ鳥もちニ似タル粘液ヲ有ス故ニ此ノ名アリト云フ之レヲ捕フルノ術ハ竹籠(當愛知縣ノ磯笠類似ノモノナルベシ)ノ内へ魚類ノ骨頭及腸類ヲ容レ深ク海底ニ沈メ置クキハ彼レ來リテ籠中ニ入ル一回ニシテ數尾ヲ得ル、ト云フ

一出漁中收穫多キキハ魚豚嵩ミ船中ニ積載シ得サルヲ以テ鱧ハ其鱧ノミヲ切取リ魚豚ハ海中ニ投棄スルヲ常トス然レモ小屋地へ歸港ノ際ニ至レハ其新鮮ナルモノヲ撰ミ積載シ得ル限リハ之ヲ持歸リ之ヲ土人ニ販賣ス

漁獲物販賣ノ有様

一 彼地ニテ漁獲物ヲ販賣スルハ鱧ノ魚豚ヲ捨テ賣ニスルノ外絶テナシ内地ニテ凡拾圓内外ノ價ヲ有スルモノモ彼地ニテハ安キハ拾貳參錢高キモ參拾錢ヲ過キス是皆土人ノ食用ニ供スルモノトス
 一 前項ノ如ク價格廉ナリト雖モ漁獲ノ數量多キヲ以テ一ケ年ニハ百圓乃至貳百圓ノ賣揚金ヲ得ルテアリト云フ

一 鱧鱈ハ小屋番之ヲ日乾シ小屋内へ貯藏シ置キ歸國ノキ積歸リ多クハ長崎ニテ清國人ニ販賣ス

一 鱈及他ノ小魚ヲ捕獲シタルキハ小屋番之ヲ鹽漬トナシ置キ販國ノ上馬關或ハ尾ノ道等ニ販賣ス

一 漁獲物ヲ自船ニテ積歸ルハ別ニ手數ヲ要スルヲナキモ万一ノ都合ニ依リ商船ニ依托シテ運送スル場合ニ於テハ稅關ノ檢査ヲ受ケ相當ノ關稅ヲ拂ハサルヲ得ス故ニ近來ハ商船ニ積込ムモノ甚ク稀ナリト云フ

通用貨幣

一 日本貨幣ハ釜山仁川等ノ開港場ヲ除クノ外ハ一切通用セス故ニ取引ハ皆韓錢ヲ用ユ
 一 韓錢ノ一文ヲ「ハンブ」ト云ヒ二文ヲ「ツウブ」ト云フ又十文ヲ「ハンド」ニ十文ヲ「ツウドン」百文ヲ「ハンニヤン」二百文ヲ「ツウニヤン」ト云フ是等ノ名稱ハ我漁人等皆能ク覺ヘ居リテ韓人ト直接ニ取引ス
 一 日本貨幣ハ韓錢ト兩替ヲナシ置キ之レヲ使用ス兩替ハ釜山又ハ仁川港ニ非レハ之ヲナスヲ得ス

用語

一言語ハ總テ韓語ヲ用ヒサレハ通シ難シ故ニ出漁人ハ務メテ日用ノ韓語ヲ習ヒ(師ニ就テ)學フニアラズ(需用品ノ購求及ヒ魚類ノ販賣等土人ト直接ニ談判スルコトヲ得ル故ニ別ニ通辨ヲ要スルコトナシ)

彼地漁民ノ有様

一彼地漁民ノ有様ヲ視ルニ漁術甚未開ナリ殆ト兒戲ニ類スルカ如キ極メテ拙ナル法ヲ以テ小魚ヲ捕獲スルヲ見ル未タ地引網等ハナキモノ、如シ一張網ヲ以テ艦ヲ捕ル法アリ其法ハ松板ヲ以テ製シタル丈夫(重クシテ進行甚タ鈍シ)ノ船ニ數人乗込ミ之ニ炬火ヲ點シ沖合ヨリ地方ニ向ヒ鉦鼓ヲ鳴シ大聲ヲ發シテ進行ス艦恐レテ陸地ニ向テ逃行ス此時船ハ稍ヤ速力ヲ増シ之レヲ追フテ押寄スルニ艦逃路ヲ失シ狼狽群集シ更ニ進路ヲ轉シ沖ニ向テ逃レントスルノ際船上ヨリ張網ヲ以テ之ヲ捕フ如此スルコト數回薄暮ヨリ夜半迄之ヲ爲スルハ其捕獲物ハ大概船一盃ニ滿載シテ飯ルヲ常トス是全ク漁法ノ工ミナルニ非ラスシテ漁族ノ夥多ナルト且其モノ、魯鈍ニシテ捕ヘ易キニヨルモノ、如シ

一前項ノ捕獲物ハ土人之ヲ自ラ乾物トナシテ販賣ス其價格ハ百斤ニ付凡壹圓貳拾錢ナリト云フ

一釣魚ノ術甚々拙ナリ船ヲ浮ヘテ釣ヲ垂ル、アリ又岩頭ヨリ竿ヲ投シテ釣ルモノアリ舟ヨリ釣ルモノハ多ク太刀魚コシテ他ノ雜魚類亦多クシテ甚タ捕ヘ易キカ爲メ岩頭ヨリ釣ルモ鯛三四十尾ヲ得ルコトアリト云フ
一土人ハ未タ延繩ノ漁法ヲ知ラス依テ鰾釣ハ勿論更ニ遠海漁業ヲ爲スモノナシ

普通商品(日用)ノ價格

一日用品ノ價格ハ大略左ノ如シ
但明治二十五年秋冬ノ相場

- 一白米 壹升 六錢八厘
- 一薪 壹束 六錢
- 一醬油 壹升 拾八錢
- 一鹽 壹俵(二十五貫入)四拾錢
- 一燒酎 壹升 五拾錢

- 一 シヨリ韓酒 壹升 二錢
- 一 罾 壹升 三錢五厘
- 一 大根 壹本 二錢

雜件

一 朝鮮人ハ嫉妬殊ニ深シ日本人ノ至ルヲ見レハ婦人ヲ屋内ニ入レ戸ヲ閉テ錠ヲ下ロスヲ例トス故ニ日本人ハ如何ナル場合ニモ屋内ニ入ラサルヲ可トス

一 税關ヨリ受ケタル所ノ鑑札ヲ所持スルモノハ魚介ハ其種類ノ何タルヲ問ハス捕獲スルヲ得ルト雖モ海藻ハ採取スルヲ得ス

一 佐賀關町漁者仲家太郎言ハ蟻繩ノ發明者ニシテ且ツ朝鮮海出漁ノ先導者ナリ年々漁船二艘若シハ三艘ヲ出シテ莫大ノ利益ヲ收ム既ニ客年八月ヨリ本年二月十三日迄二艘ノ漁船ヲ以テ朝鮮海ニ出漁シ専ラ蟻繩ヲ使用セシニ收穫物ノ水揚高三千圓アリシト自稱ス是レ客年中該所ヨリノ出漁船中第一等ノ收益ヲ占メタルモノナリト云フ

一 蟻漁船利益分配ノ方法ハ水揚金高ノ内ヨリ漁具費食費其他雜費等ヲ控除

シ全ク純ニ屬スル金高ヲ漁船ト乗組人員トニ除シ平等ニ分配ス尤漁船ハ一人一人ノ割前ヲ受クルヲ以テ船主ハ乃チ二人前ノ配當ヲ受クルヲ通例ノ法トス

蟻漁業ニ對スル調査表

町村名	漁獲高	價格	漁船數	一艘乗組員	一艘ニ對スル支出金	一艘ニ對スル收益金
佐賀關町	八、〇〇〇	一四、四〇〇	一六	六	三四五	五五五
佐志生村	五六〇	五二八	二	五	一七五	八九
海邊村	六、七九五	八、八三五	一九	五	一七〇	二九五
上浦村	一、〇七五	一、二九〇	六	五	一三九	七六
計	一六、四三〇	二五、〇五三	四二均平	五、三七均平	二二二均平	三五二均平

附記

前記蟻漁業ノ外本廿六年度ニ於テ該佐賀關町某朝鮮海ニ於テ鮑捕獲ノ一ヲ企テ愛媛縣西宇和郡ノ海士凡ソ六十名ヲ雇入レ船六艘ヲ一組トナシ本年一月該地ニ渡航シ爾來日々捕獲ニ從事セシメ各海士ノ捕獲セシモノハ

掛目一貫目ニ付金九錢替ヲ以テ買入レ乾鮑ヲ製シタルニ意外ノ利益ヲ得
タリ即チ純益ニ歸スルモノ實ニ一千八百圓ヲ得タリト又愛媛縣西宇和郡
ニテハ先是三艘ノ海士船ヲ出漁シタルニ乾鮑六千余斤ヲ得テ百斤五拾壹
圓平均ニテ横濱大坂ニ販賣シタリト依テ參考ノ爲メ附記ス

○廣島縣養蠶一斑

地勢 廣島縣ニ屬スル沿海ハ頗ル長ク且廣クシテ養蠶場ニ適スル所及現ニ
使用セル場所甚々多シ就中目下養蠶ノ最モ盛ナルハ佐伯郡草津、安藝郡仁保
島ノ二ヶ所トス草津ハ廣島市ノ西ニ在リ北ニ山ヲ負ヒ南ハ同郡能美島ト相
對ス其間五里東西ハ海ニ沿ヒ東十五六町ヲ距テ、廣島市中ヲ貫流スル本川、
天滿川等茲ニ流入ス仁保島ニ於テハ宇淵崎ヲ以テ最トス同所ハ草津ト異ナ
リ灣形極テ深ク東北南皆陸ヲ以テ圍繞シ西方ノ一部ノミ灣口トナルヲ以テ
風波ノ害ヲ受クルコト極メテ少ナク且ツ多クノ溪流爰ニ注入セリ
海底地質及海水深淺 海底ハ概チ黒色ヲ帶ヒタル軟沙質ナリ其黒色ヲ呈セ
ルハ古筵ノ殘存セル者其他有機物ノ腐敗シタルニ由ルモノニテ最初ヨリ地
質ノ黒色ナルニアラス草津ノ如キハ他ニ比シテ營業人ノ多キ割合ニ海面狹

キ爲メ年々同場所ニ筵ヲ立ツルヲ以テ海底一二尺迄ハ古筵ノ殘存セルモノ
埋沒堆積セリ但シ海底土質黒色ニ變スルニ至ラサレハ立テタル筵拔ケ易シ
ト云フ泥質ノ場所ハ蠶ノ成長速カナルカ如シト雖モ第一筵ヲ立ツルニ不便
ニシテ且蠶ノ糞ヨリ脱落シタルモノハ悉ク泥中ニ埋沒シ斃死スルヲ以テ筵
立養蠶場ニ適セサルカ如シ

海水ノ深淺ハ滿潮ノトキ沖方ニ在テハ一丈二三尺地方ニアツテハ五六尺ニ
シテ干潮ノトキ干瀉トナル所ニテモ可ナリ要スルニ滿潮ノトキ立テタル筵
ノ尖頭水上ニ露出セサルノ深サナレハ養蠶場ニ適スヘシ

潮流風向及海水ノ清濁 潮流ハ南ハ嚴島ト能美島ノ瀬戸西ハ大野ノ瀬戸ヨ
リ流入ス而シテ筵場ノ現狀ヲ視ルニ潮流ハ西南ヨリ東北ニ向ヒ斜ニ流過ス
風向ハ産卵期節即チ舊曆五六月頃ハ南風ノ吹クヲ常トス而シテ最モ嫌忌ス
ルハ東南風(辰巳風)ニシテ此風ハ他ノ方向ヨリ來ルモノト異ナリ風力強ク且
底波ヲ起シ立筵ヲ倒スコト少カラス海水ハ夏期洪水等ノトキ濁ルコトアル
ノミニシテ常時ハ濁ルコト極メテ少ナシ但シ毎年夏季赤潮又苦潮ト稱スル
害流來リテ磯魚若クハ介類ヲ害スルコトアリ又夏季太陽ノ熱度強キガ爲メ

ニ海水ノ温度昇騰シ蝸ノ稚少ナルモノ害ヲ被ルコトアリ
 其多ク竹ヲ用ユ重モニ「まだけ」ニシテ大ハ四五寸廻リヨリ小ハ小指大ノモノ
 ナリ「はちく」ハ枝多ク且ツ長クシテ蝸ノ付着モ随テ多ク最モ筵ニ適スト雖モ
 高價ナルヲ以テ使用者少ナシ又一説ニ「はちく」ハ質脆キカ故ニ風波ノ爲メ
 枝ヲ吹キ折ラレ且腐朽シ易キヲ以テ風波ノ害極メテ少ナキ所ニアラサレハ
 使用セスト木枝モ亦筵ニ供スヘシト雖モ折レ易ク且表皮剝脱スルカ爲メ其
 付着シタル蝸ノ成長シテ重力ヲ加フルニ隨ヒ遠ニ剝離シテ海中ニ落下シ斃
 死スノ憂アルヲ以テ之レヲ用フルコトナシ但筵立ノ際間々久シク海中ニア
 リテ己ニ表皮ノ剝脱シタル木枝ヲ竹ト共ニ樹ツルヲアリ之レニ付着シタル
 モノハ前ノ如キ憂ナク竹ト同様一ケ年ヲ保ツヲ得ルト云フ由之見レハ蝸ハ
 筵材ノ何タルヲ擇ハズ付着スルモノトス凡テ筵竹ハ大ニシテ枝多キモノハ
 蝸ノ付着數多ク價高シト雖モ結局收穫ニ至リテ利益多シトス筵竹ハ草津邊
 ニテハ長サ三尺乃至三尺五寸仁保島ニテハ五尺内外ニ切り用フ而シテ此切
 方ハ兩方ヨリ矢等狀ニ切ル可ラス一方ヨリ切ルベシ若シ一方ヨリハスニ切
 ルモ必ス一刀ニテ切ルヘシ然ラサレハ沙泥其切口ニ塞リテ短少ナル干潮時

間ニ於テナス筵立ノ不便トナルコト少ナカラズ又竹ハ折ル、ノ憂ナキ故ニ
 其枝稍々細長ナルモ切除カサルヲ利トス

筵立ノ期節及方法 筵立ノ期節ハ毎年入梅ノ候ニシテ干潮ニ乗シテ立ルモ
 ノトス筵ハ竹三四本ヲ一叢トシ潮勢ニ順ヒ縦二尺横二尺ノ距離ヲ置キ隣列
 ト相併向セサル様互ニ違ヒニ立テ更ニ一間ヲ隔テ前法ノ如ク列立ス又一二
 本ツ、縦ノ距離ヲ置カス他ハ前法ノ如ク距離ヲ置キ立ツルアリ又種採ト稱
 シ十本乃至二十本ツ、分離シ更ニ適宜ノ場所ニ移スアリ此他立テタル筵ノ
 梢ヲ相互ニ連結スルコトアリ是レ地勢ノ如何ニ由リ異ニスルモノニシテ草
 津地方ノ如キ時々風波ノ害ヲ受クルノ憂アル場所ニ於テハ三四本ヲ一束ニ
 立テ又仁保島ノ如キ右等ノ憂ナキ所ニ於テハ則チ種取ノ法ヲ行フヲ得ヘシ
 又竹ノ長短ハ風波ノ多少ニ由テ異ナリ則チ風波ノ害多キ所ハ短クシ否ラサ
 ル所ハ長シ
 借テ筵ヲ立ツルニハ方言「ブリ」ト稱シ楯棒ノ圍一尺長五尺乃至七尺ニシテ下
 方ニ至ルニ從ヒ太クシタルモノ、一端ニ長一尺許(太サ楯棒ニ準ス)ノ方錐形
 ノ鉄ヲ嵌メ而シテ鉄ヨリ以上七八寸ノ所ニ横ニ櫂ノ踏木ヲ設ケタル具ヲ筵

場ニ立テ其踏木ニ足ヲ上ケ之ヲ踏ミテ穴ヲ穿テ之ニ其筭ノ上方ヲシテ可成
開カシメ立ルナリ若シ上方ナ一所ニ纏メ立ツルトキハ蠣ノ付着極メテ少シ
トス地質ニ由リ穴ヲ穿ツヤ傍ヨリ直チニ筭ヲ挿入スルニアラサレハ「ブリ」チ
抜クト同時ニ穿テタル穴ハ沙ノ爲メニ填塞セラル、ノ憂アリ又筭ヲ立テ終
ルヤ更ニ手ヲ以テ挿入シ根ヲ固ムルコト必要ナリ之ヲ怠ルトキハ僅ノ風波
ノタメニモ脱出スルノ恐アリ從來ハ潮流ヲ横斷シテ筭ヲ立テタレハ潮水ノ
流通宜シカラサルタメ蠣卵ハ沖ノ方ハ密着スルモ中央ヨリ地方寄ノ方ニハ
付着少ナシ又沖ノ方ハ餘リ密着ニ過クルカタメ成長極メテ鈍キノミナラス
時々風波ノタメニ倒サレテ其害ヲ被ルコト少ナカラス故ニ近年ニ至リ潮流
ニ從ヒテ立ルコトニ改メタリ此方法ニテ立ツレハ潮流ハ筭場全体ニ通スル
ヲ以テ卵ノ付着一方ニ偏セス且潮流ヲ遮ラサルヲ以テ風波ノ害ヲ被ルコト
少ナシ加之潮流ノ通過宜シキ爲メ食餌モ從テ多シ蠣ノ成長亦宜シトス但シ
筭場ノ周圍ニハ潮流ノ順逆ニ關ラス筭ヲ繁ク二列ニ立廻ハセリ是レ全体ノ
筭ニ對シ激浪暴風ノ害ヲ豫防スルカ爲ナリ又全体ノ筭ヲ繁ク立ツルトキハ
蠣ノ付着隨テ多シト雖モ其成長遲緩ナルヲ以テ成ルヘク場所ヲ廣クシテ疎

ニ立ツルヲ好トス
卵ノ付着并成長 産卵ハ毎年五六月頃即チ梅雨ノ候ヨリ九月頃マテニシ
テ梅雨ノ頃筭ニ付着スルヲ夏付ト云ヒ九月頃ニ付着スルヲ秋付ト云フ是
レ一個ノ蠣二回産卵スルニアラス放卵ニ遲速アルナリ同一ノ蠣カ二回凡テ
蠣ノ産卵スルニ至ルハ二年以上ノモノニシテ舊曆三月頃ヨリ鴈ノ周邊點々
白色ヲ帯ヒ四月ニ至リテ全部恰モ豆腐ノ如ク白色トナリ五月ノ中潮時(十五
日潮)頃ニ至レハ恰モ水中ニ米汁ヲ注入シタル如ク海水白濁ス斯ノ如ク濁
レルハ十五日乃至二十日間ナリ其卵ノ筭ニ付着スルハ上下周圍ニ甚シキ差
ナキカ如シト雖モ沖ノ方ニシテ直接ニ波ヲ受ケ海藻等ノ漂流シタルモノハ
打テ付クル所ハ付着極メテ少ナシ概シテ筭ノ下方ニ至ルニ從ヒ其付着漸ク
少ナシ海底面四五寸ノ所ニ至レハ極メテ稀薄トナル此付着期ニ方リ降雨ア
ルモ別ニ害ナキカ如シト雖トモ旱魃ハ却テ害アリ
付着セル卵ハ凡一月ヲ經テ大カ二三厘恰モ泥粒ノ如ク粘色ニシテ形ハ扁平
ナリ二月目ニ至リテ稍々長シ大豆粒大トナリテ殻ノ周邊ニ刺ヲ見ルカ如シ
此成長ノ度ハ場所ニ由リ大ニ遲速アリ其最良トスルハ海底沙泥質ニシテ淡

水稍々多ク注入シ潮ノ満通好キ所トス茲ニ成長セルモノハ殻面滑カニ形延
 ヒ居レトモ鹹水ノミニ成長セルモノハ殻形縮小シ外觀極メテ惡シ然トモ之
 ナ大氣中ニ置クトキハ鹹水ニ成長セルモノ永ク生活力ヲ保ツト云フ又地勢
 ニ由リ若クハ付着ノ前後ニ由リ差アルヘシト雖トモ一般ニ沖ノ方成長速カ
 ナリ例ヘハ沖方ヨリ地方マテ六十間ノ築場トスレハ沖方二十間ハ成長速カ
 ナルモ地方四十間ハ前者ニ比シテ稍遅シ又實業者ノ言ニ蠣ハ舊曆八九月ノ
 頃ヨリ翌年三月頃マテハ成長シ夏季産卵前後ハ成長スルコトナシ殊ニ産卵
 後ハ肉色白變シ疲勞シテ成長ノ勢力ナシ八九月潮水稍冷ナルニ至リテ始メ
 テ成長ヲ始ム而シテ其殻ノ延長スルハ重モニ二ケ年間コシテ三ケ年ニ亘レ
 ハ只殼質ニ厚サヲ加フルノミナリト
 育養並採收 築立後ハ別ニ手數ヲ要セス唯時々注意シテ築ノ脱出ヲ防キ産
 卵期節中ニ在テハ其拔ケタルモノハ更ニ立テ直スカ若クハ古築ヲ挿入シ又
 築ヨリ落チタル蠣ノ海底ニ堆積セルモノハ程能ク掻キ擴ケ或ハ害物ヲ除去
 シ或ハ他人ノ浜中ニ入ルヲ防ク等ノミ而シテ翌年梅雨或ハ初秋ノ候ニ至リ
 築ヲ拔キ取り棒ヲ以テ其根ヲ叩キ附着セル蠣ヲ落シ大小ヲ區別シテ之ヲ活

場ニ移シ育養ス活場ハ風害ノ患ナキ沙泥ノ場所ヲ宜シトスレトモ否ラサル
 所ニアツテハ簀ヲ立テ廻ハシテ風害ヲ避ケ其中ニ散布シテ育養ス之ヲ活場
 ト云フ簀ハ竹ニシテ築トナスニ適セサル部分ヲ長サ三尺ニ切り藪繩ニテ二
 ケ所ヲ編ミ海底チ一尺許ノ深サニ半月狀形ニ掘リテ簀ノ基部ヲ埋メ立ツル
 ナリ而シテ蠣ノ大ナルモノハ淺所ニ薄ク少ナルモノハ深所ニ厚ク撒布ス是
 レ大ナルモノハ其年末ニハ販賣シ得ルヲ以テ取掲ケ易ク且ツ成長モ速カナ
 ラシムル爲メナリ此撒布以後ハ蠣ヲシテ食餌ヲ平等ニ得セシムル爲メ方言
 「ガソツメ」ト稱スル四本爪ノ熊手ヲ以テ一ケ月若クハ二ケ月毎ニ上下ニ掘リ
 返ス但シ活場沙質ノ所ナレハ強テ此手ヲ入チ爲スニ及ハスト雖モ泥質ノ所ニ
 テハ蠣深ク泥中ニ潜入シ遂ニ死スルニ至ルコトアルヲ以テ必ス之ヲ行フモノ
 トス活場ヲ簀圍トナスニハ舊曆七月十五日(干満ノ差最モ高シ)ヲ以テ簀ヲ立
 テ二百十日ノ暴風期ヲ過キテ後ヲ蠣ヲ活ケ込ムヲ常トス而シテ之ヲ簀圍トナ
 スハ第一風波ノ爲メ蠣ヲ散乱セシメサルノ目的ナリト雖モ草津ノ如キハ同
 業者多キ割合ニ海面狹キヲ以テ他人ノ所有ト相混セシメサルニモ由ルナリ
 採收販賣スルニハ(二年生ヲ「若」三年生ヲ「古」ト稱ス)毎年舊曆九月頃ヨリ寒明ケ

マテニシテ味ノ最美ナルハ寒中ナリ而シテ寒明ケ後ニ至レハ味大ニ減シ次
第二顧客ヲ失ヒ暖氣ニ向フ頃全ク止ム

害物「コニシ」(一名「コガ」)「テナガダコ」ヒトデ「蟹」等ニシテ就中害ノ最モ甚ダシキハ

「ニシ」ダコノ二種トス「ニシ」ハ蠨蝮ノ外部ニ吸着シテ殻ニ穴ヲ穿テ肉汁ヲ吸收

シ「ダコ」ハ介ノ口ヲ開クヲ窺ヒ肉ヲ引出シテ纒食スト云フ動物ノ害ハ概テ以

上ノ如クニシテ之ヲ防クハ左ノミ困難ニアラサルモ實業者ノ最モ困シムハ苦

潮ナリトス

運搬及販路 蠨蝮ヲ活場又ハ浜場ヨリ取揚クルニハ五本爪ノ熊手ヲ以テ搔キ

寄セ「ヤツコ」ト稱シ長サ一尺許ノ八本爪ノ熊手ヲ以テ「ダブリ」ト稱スル平爪ニ

搔キ入レ之ヲ船ニ移シテ運送ス朝潮一回ニ人夫三人ニテ船一艘分六百四五

十貫ヲ積ムヲ常トス而シテ之ヲ遠方ヘ送ルニハ俵ヲ普通ノモノヨリ丈夫ニ

作り之ニ蠨蝮十五貫ヲ入レ充分ニ詰メ三ヶ所ヲ緊結ス斯ノ如ク強ク突詰ムル

ハ運搬中口ヲ開キテ水分ヲ排出セサルヲ以テ永ク死セサルカ爲ナリ而シテ

運搬及貯藏中雨水若クハ東南風ニ觸レシムレハ速ニ斃死スルヲ以テ此二者

ハ實業者ノ常ニ困難スル所ナリ若シ運搬中此憂ニ遭ハサル時ハ寒中ハ五七

日ヲ經ルモ斃死スルコト稀ナリ從來蠨蝮ヲ大坂ヘ送ルニハ和船ヲ用ヒタリシ

ヲ以テ一俵三十五貫入トナセシカ近年漁船便ヲ藉ルニ至リ取扱上不便ナル

故一俵十五貫入ト改ム運賃ハ廣島、大坂間一俵ニ付金十五錢ナリ販路ハ同地

産出ノ半ハ大阪ニシテ他ハ縣内及近縣トス價格ハ去明治廿四年ノ冬ニ於テ

「若」ハ一俵三十貫入一圓二十錢「古」ハ一圓四五十錢又剝身トシテ縣内ニ販賣ス

ルニハ大概一升ニ付八錢内外ヲ通例トス

收支概算 養蠨ニ要スル費用反收入ハ年々一定スルヲ能ハス之ニ要スル人

夫賃ノ如キハ他ノ各業ヲ兼スルヲ以テ一々之ヲ區別スルヲ能ハス且朝夕干

潮ニ際シ使役スル等半數ノ時間ナルヲ以テ實際何業ニ幾人ヲ要スルヤ計算

シ難シ又收入ノ如キモ年々價格ニ高低アリ又蠨ノ付着スルヤ舊六月頃ヨリ

立筭ノ儘賣買ヲナス等アリテ一定セシ且收支ニ關シ一々記帳スル等ノ手數

ヲ爲スモノナキヲ以テ確實ナル計算ヲ爲スコト能ハス只其概略ヲ記スルノ

ミ即チ一町二反ノ浜場ニシテ支出ニ屬スル分ハ○筭竹代金六十九圓(但三萬本十
本チ一把ト
シテ金二錢
五厘ノ積)○竹切人夫賃六圓(但四十人、一人
ニ付金十五錢積)○筭立人夫賃金十二圓(但二百人、干潮時ノ
ミナレバ一人六錢積)○筭

立手傳賃金六十錢(但二十人、少年ヲ用フ
ルヲ以テ一人金三錢積)○海面借用税金九圓六十錢(一町二反、一反
ニ付金八十錢積)○器具

立手傳賃金六十錢(但二十人、少年ヲ用フ
ルヲ以テ一人金三錢積)○海面借用税金九圓六十錢(一町二反、一反
ニ付金八十錢積)○器具

立手傳賃金六十錢(但二十人、少年ヲ用フ
ルヲ以テ一人金三錢積)○海面借用税金九圓六十錢(一町二反、一反
ニ付金八十錢積)○器具

立手傳賃金六十錢(但二十人、少年ヲ用フ
ルヲ以テ一人金三錢積)○海面借用税金九圓六十錢(一町二反、一反
ニ付金八十錢積)○器具

立手傳賃金六十錢(但二十人、少年ヲ用フ
ルヲ以テ一人金三錢積)○海面借用税金九圓六十錢(一町二反、一反
ニ付金八十錢積)○器具

代金二圓四十六錢(但熊手、ガソケット、ヤッポ、ア)計金九十九圓六十六錢〇收入ニ屬スル分
 ハ〇金百八十二圓(但一町二反ノ收穫高、一反ヨリ三)差引金八十一圓三十四錢ヲ利益金ト
十貫俵十俵ヲ得一俵一圓三十錢積

概略以上ノ如シト雖凡器具ノ如キハ着業初年ニ在テハ到底一具宛ニテ事
 足ルヘキニアラズ故ニ只其標準ヲ記スルノミ又蠟ヲ剃身トシテ販賣スル
 場合ニハ其殼ハ十五貫ニ付金十四錢乃至十八錢ノ價ヲ有セリ
 以上列擧シタルハ廣島縣下養蠟法ノ一斑ナリ抑モ該地ノ養蠟ハ草津ヲ以テ
 創始トシ其舊記及傳説ニ依レハ已ニ二百有餘年前ニ始マリシモノニシテ爾
 來益々其方法ヲ改良シ現ニ養蠟場ニ使用セル海面ハ築場ハ五拾七町余活場
 拾九町余歩ニ及ヒ産額モ亦非常ニ増加セリ

○聞龍世界博覽會商况視察委員早川龍介報告書

商品販路擴張ノ方法
 商品販路擴張ノ方法ハ一定ノ方法ヲ用ユル能ハサルモノナリ故ニ商品ノ種
 類ニ依リ擴張ノ方法ヲ異ニスルト雖モ我愛知縣ニ於テ製作セル商品種類ノ
 擴張ヲ謀ラントスルニハ先ツ製造家及ビ販賣商人ハ合衆國諸都府ニ向テ賣

品ノ圖書ヲ石版ニ寫シ定價ヲ明記シタル美麗ナル冊子(カタラクト)ヲ散布シ
 新聞若クハ雜誌類ノ廣告ヲ以テ名ト物品トナシ廣ク彼ニ示スヲ尤モ急要ナリ
 而シテ今後ノ貿易上ニ於テハ内地ニ安居シテ漫遊ノ客ヲ迎ヘ若クハ日本居
 留ノ外國商人ニ而已據ツテ其製品ヲ醫カントスルハ頗ル迂遠ナルヲナリ故
 ニ歐羅巴大陸ニ在テハ佛巴里府、英倫敦府、獨伯林府、澳維納府、露聖彼得堡府、等
 ニ直輸出ノ商店ヲ開キ日本製造品ヲシテ各國人ノ眼目ニ觸レシムルヲ勉
 ムヘシ又北米合衆國ニ於テハ左ノ各州都府ニ出店シテ日本物品ヲ直輸販賣
 スルヲ要ス

ニユーヨーク州	新紐育府	百五十一万五千三百〇一人
同	ブルックリン	八十万六千三百四十三人
ニューヨーク州	シヨルシーセター	十六万三千四百四十三人
右ノ三市ハ唯一線ノ河ヲ隔ツルノミニシテ恰モ一府ノ如キモノナリ		
イリノイス州	千籠府	百〇九万九千八百五十八人
ペンシルバニヤ州	費良府	百〇四万六千九百六十四人
ミヅリー州	セントルイ	四十五万七千七百十人

マサムウセツト州	ボストン	四十四万八千四百七十七人
メリランド州	ホルテモア	四十三万四千四百三十九人
カリホルニア州	サンフランシスコ	二十九万八千九百九十七人
チハヨール州	シンシナター	二十九万六千九百〇〇人
同	クリーブランド	二十六万三千三百五十三人
ニューヨーク州	パヘロ	二十五万五千六百六十四人
ルイシヤナ州	ニューチレヤンス	二十四万〇〇三十九人
ペンシルバニヤ州	ピッツホルグ	二十三万八千六百十七人
同	アレガニー	十万五千二百八十七人
右ノ二市ハ唯一線ノ河ヲ隔ツルノミニシテ恰モ一市ノ如キモノナリ		
ミシガム州	テトロイト	二十万五千八百三十二人
ウイスコンシン州	ミルチキ	二十万四千二百六十八人
ジストリック、チフ、	華盛頓府	十八万八千九百三十二人
コロンゼヤ州	ニューワーク	十八万八千八百三十八人
ニューシヨルジ州	ニューワーク	十六万四千七百三十八人
ミチッダール州	ミニヤポリス	

ケンタツキー州	ルイビル	十六万二千二百二十九人
チアラスカ州	マハ	十四万四千五百五十二人
ニューヨーク州	ローチエスタ	十三万三千八百九十六人
ミテッダ州	セントポール	十三万三千〇五十六人
ミヅリール州	キャンサスセター	十三万二千七百十六人
ロードアイランド州	プロビデンス	十三万二千四百六十六人
コロラード州	デンバー	十万六千七百十三人
インデヤナ州	インデヤナポリス	十万五千四百三十六人

余カ如斯記述セバ架空ノ大言ヲ吐ク而已ニシテ實際行フ可カラサルモノナリト思惟セラル、ナランナレモ今日以后ノ貿易ニ於テ大ニ歐米各國人ト商權ヲ争ヒ巨利ヲ占メントスルニハ當底安坐靜居シテ青眼赤髯ノ機敏ナル商人ト利ヲ銜フ一萬々覺東ナキコナリ我日本國人ハ鎖國ノ太平ニ慣レ大小名隔居ノ弊ニ流レタルノ餘害ニヤ結合ノ力ニ乏シク微力ノ商入彌ヨ微力ニ陥リ遠シ東西洋外ノ各國都府ニ商店ヲ開ク等ノコハ力ノ及ハサル處トシテ其希望ヲ抱カサルモノ、如シ余モ亦今日直ニ前記ノ諸都府ニ向テ一時ニ商店

ヲ開ク可シトハ斷言セサルモ既ニ已ニ其希望ヲ抱キ小ヨリ進ンテ大ニ及ホ
 スノ希望ヲ養成シ來ラセレハ何レノ時カ其功ヲ奏スルニ至ラサルヘシ故ニ
 奮發心アル商家ハ勉テ海外ノ諸國ニ出テ艱酸辛苦ヲ嘗メ其國語ヲ習熟シ其
 國情ニ通シ以テ漸々進テ永遠ノ大望ヲ企ツルヲ勸ムルモノナリ小資本ヲ
 以テ此ノ舉ヲ企テントスル能ハサル處ナレハ合資本ノ會社ヲ起シ(譬ヘハ製
 造ハ各自ニ爲スモ合資本ノ販賣商店ヲ起シ紐育及ヒ千籠等ニ販賣店ヲ開ク
 ヘシ)外國ニ店ヲ開キ販路ノ擴張ニ勉ムルニ非サレハ長足ノ進歩ヲ見ルヲ能
 ハサルモノナリト斷言シテ憚ラサルモノナリ
 愛知縣ヨリ開龍世界博覽會ニ出シタル物品種類左ニ

- 七寶器
- 陶磁器
- 生糸
- 清酒
- 絹織物
- 木綿織物

出品外

- 刺繡物
- 絞染物(絹木綿布)
- 竹木彫刻細工器
- 紙製器
- 漆細工
- 樂器
- 提燈
- 算盤
- 彫刻物
- 農産物(晒糸瓜)
- 米
- 麥
- 茶
- 麥稈細工類

繡箔屏風

以上

七寶器

七寶ハ我國ノ特有製作品ニシテ近時歐米ノ諸洲ニ於テ室内雜飾品中尤モ貴重ナル愛玩物トシテ流行ノ一種トナレリ合衆國ニ在テハ東方地方大西洋沿岸ノ地方ニ於テ流行スルモノナレハ先ツ此地方ニ向テ販路ヲ擴張ス可シ方
法ノ如キハ前ニモ記述セシ如ク有名ナル都府ニ商店ヲ開キ多ク諸外國人ノ
眼目ニ觸レシメ而シテ其製作ノ容易ナラサルヲナ説明スルヲ緊要ナリ

陶磁器

陶磁器ノ如キモ販賣擴張ノ方法ニ於テ大概前項ニ明記シタルカ如クスルノ
外ニ良法ヲ發見セサレハ元來陶磁器ハ七寶ト異ナリ今回ノ世界博覽會場中
合衆國各洲ハ勿論佛蘭西、英吉利、日耳曼、澳西、太利ヲ始メ贊同ノ諸國何レノ
國ニ於テモ陶器及ヒ磁器ヲ陳列セサル國一モナシ故ニ開未開ノ別ナク陶磁
器ヲ製スルハ人世生活上天賦ノ製作物ト云フモ過言ニ非ラサル可シ故ニ其
種類ノ饒多ナルガ故ニ販路ノ擴張ニ一層ノ耐忍尽力セサレハ其目的ヲ果タ

大能ハサルモノナリ

生糸

生糸ハ我國最第一位ノ生産物ニシテ其產出額ハ廿六年十月ノ統計ニ據レハ
實ニ三千九百五十三万二千二百七十九圓ノ多キニ昇レリ然シテ我愛知縣ノ
如キハ從前生糸ノ產出甚タ盛キ國ナリシカ近時大ニ發達シテ其產額モ盛カ
ラサルニ至レリ從來販路擴張ノ方法ハ多ク横濱ノ居留外國商人ニ販賣スル
モノナリシカ近時進テ直輸出ノ道開カレントスルニ至レリ合衆國「ハテソン」
ノ如キ機場ノ織物工業所ニ向テ直輸ノ道ヲ開通シ注文ニ應シ可成一定不變
ノ糸ヲ製造シ販賣スルヲ要ス而シテ此販賣ニ附テハ可成不正ノ品質ヲ混交
セサルヲニ勉ム可シ譬ヘハ王尾ト又昔ノ如キ製糸肉眼ヲ以テ一自分別スル
能ハサルモノト雖モ織物ニナシタル后ヲ染上ケタル時ニ於テ其色ヲ異ニス
ルニ至レハ大ニ販賣ニ妨ケヲ來タスモノナリ實ニ注意ノ缺ク可カラサル處
ノモノナリ而シテ信用愈々厚ク直接ニ織物工業家ノ注文ニ應シ年ヲ進テ賣
路ノ擴張ヲ計ルノ外良法ヲ得ル能ハス

清酒

日本清酒ナルモノハ歐米諸州ニ未ダ見サル處ニシテ米國ノ如キハ殊ニ一滴モ有ルコトナシ余ハ元來酒ヲ嗜マサルモノナレハ其適否ヲ知ルニ幾分カ不便ナレトモ愚考ニハ此ノ日本清酒ナルモノハ必ス米國人等ノ嗜好ニ適スルモノト信ス元來米國現在ノ酒ハ葡萄酒、麥酒、セリー、シヤンヒン、フイスケ、フランドー、ヘルモット等其種類饒多ニシテ一言シ難シト雖モ強キハ甚ダ強ク甘キハ甚ダ甘ク辛キハ甚ダ辛シ然シテ一般ノ酒概テ不廉ニシテ下等人ノ口ニ入ル能ハス廉ナルモノハ麥酒ナレトモ其量ノ比較的快酔ノ度甚ダ短シ又普通下等ナル好酒家ノ用ユルモノハ「フイスケ、ナレトモ至テ」アルコト分多量ニシテ多少ノ害ヲ殘スナルベシ然シテ比較上日本清酒ヨリハ高價ナルモノナレハ日本清酒ノ販賣ハ十分見込アルモノナリ然ルニ米國ニ向テ輸出セントスルニ一ノ困難ナルハ米國海關輸入税ノ多額ナルモノナリ一ガロン貳升五合二弗半ノ輸入税ヲ課スルモノナレバ我國ノ四斗樽一本ニ付三十四弗ノ輸入税ヲ拂ハサル可カラス之ニ據テ到底販路ヲ擴張スル能ハサルモノト云フ可シ實ニ可惜事ナリ

絹織物

絹織物販路擴張ノ方法ノ如キハ前陳ノ諸府^ニ「ホールセル」ノ販賣店ヲ出シ吳服店ニ向テ見本ヲ配付シ以テ其購求ヲ促ス^{ハシカテ}要ス^{手巾}ノ如キモ近時非常ナル賣行キナルモ彌ヨ進テ改良ヲ謀ラサレハ退歩スルニ至ラン

木綿織物

木綿織物ハ米英ノ進歩實ニ我國ノ及フ所ニ非ス價ノ如キモ實ニ低廉ニシテ其織物ノ種類幾百種ノ多キ其精工ナルモノ一目絹布ニ異ナルコトナキモノ多々アリ大ニ改良ノ實功ヲ奏スルニ非ラサレハ到底海外輸出ノ目的ヲ果タス能ハサルモノト云フベシ

刺繡物

刺繡ハ日本人ノ指工藝中一種ノ特有物ニシテ緻密ナル刺繡ノ如キニ至テハ歐米國人ノ企テ及ハサルモノナリト雖モ米國ニ於テ近時一種ノ刺繡機械ヲ發明シ精工緻密ナル刺繡ヲナセリ已ニ博覽會中工藝館ニ合衆國某會社ノ出品アリ實ニ機械ノ進歩驚クニ餘アリ然レトモ極細キ所謂芥子縫ト云フカ如キモノハ未ダ爲シ能ハス然レモ早晚此術ヲモ發明スルニ至ル可シ大ニ改心セサル可カラサルコト云フ可シ

絞染物

絞染物モ亦一種ノ指工藝ナレハ或ハ流行ノ時來ルモノナル可シト雖モ改良ノ方法ニ就テ注意ヲ要スルモノアリ而シテ合衆國諸州ハ新奇ノ物ヲ好ムノ風アルヲ以テ一度ヒ此地ニ流行スルニ至ラハ一時ノ賣行キハ夥果ナル可シト雖モ永久持續ノ程如何アル可キヤ斷言シ難キモノナリ

竹木彫刻器

竹木ノ彫刻中竹ハ東洋ノ産ニシテ米國ニ一條モナク隨テ珍愛スル處ノモノナリ然レモ實用ノ器物ニ適當セル製作ハ至ツテハ甚ク難シ竹木ヲ併セ用ユル書棚帽子掛等ノ如キハ運搬費ヲ要スルモノニシテ製作品ヲ輸漕スルハ損益ノ相償ハサルモノナル可シ故ニ職工自ラ渡米シテ製作ヲナサハ必ス利益ヲ占ムルヤ疑ヒナシ而シテ竹而已ノ製作ハ籠ノ類大ニ見込アリ此ノ製作ニモ其品類ニ據リ賣行キ善キモノト賣行惡キモノトアル可シ只ニ一言ニ云ヒ尽ス能ハサルモノナリ大ニ注意スヘキモノト云フ可シ

紙製品

紙製品ハ其製作物甚ク狹少ニシテ從來一開張ノ類ハ多少賣行キタルモノナリシカ近時獨乙ニテ紙製一開張ヲ製造スルコト發明セリ是ハ重壓機械ニテ厚キ一枚ノ紙ヲ以テ製シタルト同シキ品ヲ作ル其質至テ手丈夫ニシテ價頗ル廉價ナルヲ以テ我國ニ於テモ到底機械ノ發明等ヲナシ人工費用ヲ省キ丈夫ニ且ツ價ノ廉ナルモノヲ製作スルニ非ラサレハ競争スル能ハス又窓掛ケノ如キハ米國ニ於テ製スル薄キ綿布ヲ以テ製造スルモノニ及ハス考慮セサルベカラサルモノナリ

漆細工

漆器ハ世界中日本ヲ以テ最上トスルモノナリ然ルニ漆器ハ實地ニ應用スル器物甚ク少ナシ日本ニ於テハ禮式ニ係ル食器物即チ膳腕ヲ始メトシテ文臺視箱衣紋掛等ヨリ重箱ニ至ル迄漆器ヲ用ヒ其需用甚ク濶ク隨テ販路モ多クナルモノナレモ諸外國ニ於テハ吾カ日本ニ於テ用ユ可キ漆器ノ如キハ一モ實用ニナサス只從來外人ノ購求スルハ珍奇ナルヲ好ミ唯ニ裝飾ニ用ユルモノナレハ多分ノ賣路ヲ見ル能ハス然レモ其製作品ニ就テ漸次改良ヲ加ヘ實用ニ適スルニ至ラシメハ其路ナキニ非ス

樂器

樂器ハ今回ノ博覽會ニ(バイオリン)ヲ出品セシカ洋風ノ樂器其製作及ヒ價ノ
点ニ付テハ彼ニ讓ラサルモ黃澤品ニ屬スルモノニシテ其製造會社モ夥多ノ
資本ヲ費シ廣告ニ引札ニ頗ル尽力セルヲ以テ彼ノ製作家ニ勝ツノ見込ナシ
却テ日本固有ノ樂器ハ珍器トシテ聊カ賣行クノ現況アルモノト云フ可シ

提燈

提燈ハ近時米國中一種ノ流行物トナリ何レノ地ニモ開店等ノ店舖ニナスニ
至レリ然レモ此ノ提燈ハ電氣燈ニ比スレハ決シテ右ニ出ツルモノニ非サレ
ハ只一時ノ粧飾物ナルニ過キス然シテ西洋ノ建築ハ日本ノ如キ家屋ノ構造
ニ非サレハ軒ニ釣シテ愛玩スルト云フコトナシ得ベカラズ故ニ室内ニ用ヒン
カ電氣瓦斯ノ光リニ及ハス室外ニ掲ケンカ其處ナシ唯商法家ノ店舖ニ用ユ
ルヲ見ルノミ故ニ到底高價ナル品ハ賣行ク見込ナシ然レモ日本ニテ開業式
開店等ニ用ユル一種ノ廉價ナル物品ニ至リテハ大ニ後來販賣ノ見込ア
ルモノト云フヘシ勉テ各國各州ニ贈リテ多數ノ人目ニ觸レシムルコト緊要ト
ス

算盤

米國ニテハ古來ヨリ珠算ヲ用ヒス筆算ノミ故ニ日本風ノ算盤ハ實地應用ノ
具ニ非ス今後珠算ノ便利ヲ示シタランニハトノ考モナシ試ミタレモ到底爲
シ得可キコトナラズ博覽會場ニ於テ出品ノ賣行キタルモノハ其價ノ廉ナル
ヨリ教育博物館陳列ノ爲メ又ハ珍奇ノ品トシテ玩具ニナス爲メ買得シタル
ニ止マリタルモノナレハ後來貿易品一部トシテ米歐ノ國々へ輸出スルノ價
直ナキモノナリト信ス

彫刻物

金屬象牙竹木類ノ彫刻物ハ日本人特有ノ手工藝ナレバ米歐人ノ右ニ出ルハ
勿論ノコトナリ然レモ近時米國ニ於テ機械ノ進歩發達シ機械ニ據テ精緻細微
ナルモノヲ製作セリ此製品ハ大ニ雅味ヲ失フ故ニ増々進テ雅趣ト微妙トナ
備ヘタル彫刻物品ヲシテ其藝術ヲ知ラシムルニ至ラシメハ販路ヲ擴張スル
疑ヒナカル可シ

農產物

我縣ヨリ西瓜瓜ノ一種ヲ出品セリ先年來該品大ニ輸出シタルモ近來米國ニ
於テ農作スルコト少カラス用法ハ海綿ニ代用シテ身体ノ洗滌器若クハ(スタク)

キング)上鞋ノ底等ニ用ヒ又ハ陶磁器玻璃器等運搬荷物ノカヒ物等ニ用ユ價安クレハ賣行クモノナレモ多分ノ收利ヲ得可キモノニ非ザルヘシ

米

日本米歐州ニ輸出スル日ヲ追テ多シ又廿四年度ノ統計書ニ據レハ六百廿壹萬三千四百九十五圓ノ多キニ至レリ然シテ米國ニ向テ出ル處ハ九十二萬七千八百八十九圓ト統計ニ揭ケタレモ余ハ合衆國桑港ヲ始メ紐育、費拉特費、千籠等ノ商法會議所若クハ雜穀商ニ就テ日本米ノ現況ヲ聞合セタルニ米國ニ向テ入り來ル米穀前記ノ如キノ多額ナルモノニ非サルヤノ噂多シ聞ク處ニ據レバ近時歐羅巴大陸就中英國等ニ於テ小兒ニハ最モ多クノ米食ヲナサシムト云フ是ニ反シ米國ニ於テハ未ダ米食ヲナサシムルモノ甚ダ少ナクシテ現ニ博覽會場中農業館ニハルイシヤナ州ヨリ粉及ヒ玄米白米各種ノ米穀ヲ出品シ併セテ料理法ナル書物ヲ縦覽者ニ頒與セリ之レ實ニ米國人ノ多クカ米ヲ如何シテ食シ如何ナル功能ヲ有シ居ルカヲ知ラス隨テ米穀ヲ多額ニ食用セサルヲ見ルノ一例ト云フ可シ合衆國ハ南部温暖ナルルイシヤナ、テキサス、ミズシツヒ、アラバマ、フロリダ等ノ數州ニ於テ產出ス余ハ時日ヲ得スシ

テ右ノ數州ニ至リテ實況ヲ目撃セサリシハ實ニ遺憾ノ至リトス聞ク處ニ據レハ水田ト干田ノ二種アリ收穫ハ(一エーリル)我四反餘步(四石乃至五石ヲ得ルト云フ然シテ此米作ヲ始メシハ實ニ六七年以來ノ一ナリト云フ產出高ノ如キハ未ダ米國農務局ノ統計ニ上ラサル程ノモノナレハ其額ノ多カラサル推テ知ルヘシ今後大ニ勉ムル處アラハ歐洲大陸ト同シク合衆國ニ向テモ輸出スルハ疑ヒナシト雖モ輸入税ノ高キ驚カサルヲ得ス故ニ米國ニ向テ輸出セントスルニハ今後該國ニ於テノ輸入税改正モ注目シテ販路ノ擴張ニ怠ラサルヲ要ス

麥

麥ハ米國及ヒ歐洲大陸ノ常食ニシテ其產出ト消費高ノ多キモノハ小麥ナリ次テ大麥燕麥ナリ殊ニ合衆國ノ農場ノ大部ハ麥作ヲ以テ占ム其統計左ノ如シ

小麥五億千五百九十四萬九千九百七
此石數一億〇三百十八萬九千八百石
大麥ハ大凡此半額ナリ

前記ノ如ク夥多ナル産出アルモノナレハ日本ヨリ輸出スルハ甚々覺東ナキ
トニシテ利益ノ見込ナキモノト云フ可シ

茶

茶ハ米國各州共ニ近時其需用漸ク盛大ニ趣カントスルモノナレハ商業上ノ
強敵トシテハ支那印度産ノ品多分ニ入込ミ來レリ然シテ日本ニ於ケルカ如
ク茶ノ優劣ヲ論シ高價ノ茶ヲ愛喫スル迄ノ度ニ至ラス從來ノ東京人カ茶ヲ
呑ムヨリ猶一層茶ノ眞味ヲ知ラサルモノニシテ又茶ニハ必ス砂糖牛乳等ヲ
混和シテ「コヒー」ノ替リニ飲用ニ供ス然シテ彼國人ハ平時肉食ヲナスニ依リ
食事ノ最後ニ苦味アルモノヲ飲ミ口中ノ清涼ナルヲ望ム然シテ茶ノ流行
日新ラシクシテ舌ヲ以テ品位ノ善惡ヲ分ツト能ハス目ヲ以テ優劣ヲ分ツモ
ノナリ又葉茶ノ小賣商人一種ノ弊風ヲ生シ茶ヲ買フモノニハ景物トシテ何
カ手輕キ進物ヲナストアリ故ニ茶ノ優劣ハ姑ク置キ景物ノ善惡ニ據テ賣行
ノ増減ヲナスモノタリ故ニ今日以後日本人ハ米國各都ニ茶店ヲ開キ(御賣店)
茶ノ優劣ヲ知ラシメ舌ヲ以テ味知ルニ至ラシムルヲ現今ノ急務ナリ然スレ
ハ米國ニ茶ノ販路ヲ開キ歩カラサル貿易品タルヲ疑フ可カラサルモノト云

フ可シ

麥稈器

麥稈器ハ帽子手籠及ヒ桐箱ニ延張リヲナシタルノ類ナリ多クハ麥稈眞田ヨ
リ成立モノナリト雖其需用ノ尤モ多キハ帽子ナリ麥稈帽子ハメリランド州
ホルテモ一ア市ニ數箇ノ製造會社アリ余ハ其製造所ノ實況ヲ一見セントテ
「ホルテモ一ア」ニ至リ帽子製造會社兩三軒ヲ尋テ見タルニ當時ハ夏休ニ也ト稱
シ製造場ヲ見セズ折角ニ此市ニ來リ一ヶ所モ見スノ去ルハ残念ナリト漸ク
ホイトニ一會社ナル家ニ至リ社長ニ頼ミタルニ快ク諾シ製造場ヲ見セ吳レ
テ此家四階ノ高屋ニ當時職工七十人程場中ニ在リテ見本ヲ製シ居レリ
先ツ各國産ノ麥稈ヲ集メ二十餘臺ノ「ミシン」ニテ帽子ヲ形造ル次ニ大ナル鍋
ニテ膠ヲ容解シ此ノ帽子ヲ浸シ居ル處アリ此膠ニ浸シタル帽子ヲ干カス爲
メ形ニ入レテ壓重ス此壓重ハ上下ヨリ加スニテ干燥セシムルノ機械ニシテ
壓重スレハ直ニ干燥スルモノナリ然シテ次ニ周回ノ粧飾及ヒ裏ヲ縫ヒ付ク
又別室ニ於テ粧飾品ヲ製造シ居レリ社長ホイトニ一氏ノ説ニ據レハ日本ノ
麥稈眞田頗ル評判ヨリ軟滑ニシテ且ツ輕シ後來大ニ望ミアルモノナリト云

フ唯支那産ノ廉價ニ勝テ得ルヤトノナリ余ハ社長ニ向テ當市ニ於テ三四軒モ尋テタルニ何レモ見セ吳レサリシカ如何ナルヤト問ヒタルニハ決シテ見セサルノ理由アリ我社ニテモ米國人ナレハ目下場中ニ入レサルモ君等ハ日本人ニシテ疑フヘキ人ニ非スト信シタルヲ以テ入場セシメタルモノナリ其理由ハ此麥稈帽子ヲ製造セルモノハ毎月四月ヨリ三ヶ月間工風ヲ凝シ翌年流行ノ適否ヲ考ヘ工案ヲ爲シタルモノヲ七月ヨリ三ヶ月間見本トシテ製造セリ此ノ見本ヲ九月中旬ヨリ各都市ノ小賣商人ニ送り注文ヲ受ク然シテ十月ヨリ翌年三月迄ニ悉皆製造シ終リ夏季中之ヲ販賣スルモノナリ目下ハ八月ニシテ見本製造ノ時ナリ故ニ考案ヲ人ニ見セナハ其嗜好ノ品ハ直ニ模造スル處トナリ三月以來苦心シテ工風シタルモノハ他人ノ利スル處トナルモノナレハ決シテ他人ノ入場ヲ許サ、ル時節ナリト云フ實ニ製造家ノ尤モ注意スヘキ一事ナリト云フヘシ此人ノ説ニ據ルモ今後大ニ日本製麥稈眞田ハ貿易上見込アルモノナリ然シテ横濱神戸ノ居留商人ヲ合手トスレハ甚ダ不利益ノ極ニシテ改良進歩ノ道ヲ得ル能ハサレハ進テ直輸出ヲ實行スヘキコト緊要ナリ

繡箔屏風

繡箔屏風ハ一種ノ流行品トシテ貴顯紳士ノ家ニ用ヒラル、モノナリト雖モ其模様配色共ニ宜敷ヲ得サレハ賣行キ宜シカラス隨テ新規ノ考案ヲ以テ珍奇ノ品物ヲ製作スルヲ以テ緊要トス

綿

綿作ハ合衆國南部、ベルシニヤ州、北キヤロライナ州、南キヤロライナ州、シヨウシヤ州、フロリダ州、アラバマ州、ミスシッピ州、ルイシヤナ州、テキサス州、アーカンサス州、テネシッ州、ミヅリ州、ノ十二州ニ産出セリ米國種ノ綿ハ其種類幹木大ニシテ四尺乃至五尺ニ迄長ス畝間四尺ヨリ五尺木ト木ノ間三尺若クハ二尺五寸ナリト云フ織緯ノ長キ綿ハ木ノ丈長ク織緯短キ綿ハ木モ亦短ク從テ長毛綿ヲ作付スル土地ハ短毛綿ヲ作付スル土地ヨリ肥沃ナル地ヲ選ヒ畝ノ間モ廣クスルモノナリ收穫ハ一エーシクル(我四反十八步余)實綿千二百斤乃至千三百斤ナリ上地トシ稍ヤ地ノ惡シキ所ハ八九百斤ヨリ千斤ナル處モアリ肥料ハ一エーシクル二百斤乃至二百五十斤迄ヲ蒔付ノ二週間又ハ三週間前畝ノ上ニ置キ散水シテ耕地ニ浸漸シタル時蒔付クルモノナリ肥料ハ多

ク人造肥料ヲ施スモノニシテ其分量ハ

available	phosphoric acid	8%
amonia		24%
potash		14%

フロリダ州及各州ノ綿種ヲ持歸リタレハ鍛鍊ナル農業家ニ試作セシメ其結果善良ナレハ今後米國ヨリ綿種ヲ取寄セ之ヲ耕耘シテ多額ノ收穫ヲナスノ緊要アリ然シテ我縣下ニ此長毛綿ヲ繁殖シ收穫多キニ至テハ獨リ我縣ノ利益ナル而已ナラス日本國ノ利益ト云フ可シ又紡績業者カ米國産ノ綿ヲ買入レントスルニハ左ノ會社ニ向テ取組ヲナサハ信切ニ取組吳ルヲ約シ置キタリ我縣ノ綿商家ハ勉テ直取引ヲナス可シ綿商會社又ハ綿商人ノ名前ヲ記シテ取組者ノ便ニ供ス

輸入海關稅ヲ知ルヲ以テ
又其稅額ナルヲモ諸外國ノ

Hill, Fountain & Co., 111
 G. H. B. Remond, 101 So. Main St.
 Geo. W. Dobsone, 219 Chestnut
 J. B. Dunsen, 101 So. Main St.
 Geo. W. Dunsen, 101 So. Main St.
 McDonald & Co., 110 So. M
 A. A. Patton & Co., 110 So.
 Patton, Bell & Co., "
 R. M. Phillips & Co., Cotton
 I. A. Prince, 106 So. Main
 Rugg & Co., 100 So. 4th
 St. Louis Cotton Exchange,
 Senter & Co., 3rd St. Stand
 Geo. Taylor Commission Co.,
 John Thompson & Co., 101
 St. Louis, Mo.
 J. T. Watson, 101 So. Main
 T. O. Witherspoon, 101 So.
 A. L. Wolfe & Co., 101 So.
 NOTO COMMISSION.
 W. H. West Commission Co.,
 St. Louis, Mo.
 G. H. B. Remond, 101 So. Main
 Hill, Fountain & Co., 111

COTTON MERCHANTS OF MISSOURI.

Baratt & Julien, 101 So. Main St.,	St. Louis, Mo.
Bath & Co., 101 So. Main St.,	"
Birdseye & McCormick, 101 So. Main St.,	"
G. Bouvier, 101 So. Main St.,	" "
A. W. Books, 219 Chestnut St.,	"
Samuel Cramvill. Cotton Exchange.	"
Dobbins & Dazey, " "	"
Geo. Dobson, " "	"
J. B. Drury, " "	"
G. B. Emmons, " "	"
J. H. Finnigan, " "	"
Joy Duncan, 2 South Main St.,	"
McDonald, & Co., 110 So. Main St.,	"
A. A. Patton & Co., 110 So. Main St.,	"
Patton, Bell & Co., " " "	"
R. F. Phillips & Co., Cotton Exchange,	"
L. L. Prince, 106 So. Main St.,	"
Ruegg & Co., 100 So, 4th St.,	"
St. Louis Cotton Exchange, 101 So. Main St.,	"
Senter & Co., 3rd St. and Walnut,	"
Geo. Taylor Commission Co., Cor. Main & Walnut,	"
John Thompson & Co., 101 So. Main St. Cotton Exchange, St. Louis.	
J. T. Watson, 101 So. Main St.,	St. Louis, Mo.
T. C. Witherspoon, 101 So. Main St.,	"
A. L. Wolfe & Co., 101 So. Main St.,	"

COTTON COMMISSION.

シテ取組者ノ便ニ供ス

Birdseye & McCormick, 101 So. Main St.,	”
G. Bouvier, 101 So. Main St.,	” ”
A. W. Books, 219 Chestnut St.,	”
Samuel Cramvill. Cotton Exchange.	”
Dobbins & Dazey, ” ”	”
Geo. Dobson, ” ”	”
J. B. Drury, ” ”	”
G. B. Emmons, ” ”	”
J. H. Finnigan, ” ”	”
Joy Duncan, 2 South Main St.,	”
McDonald, & Co., 110 So. Main St.,	”
A. A. Patton & Co., 110 So. Main St.,	”
Patton, Bell & Co., ” ” ”	”
R. F. Phillips & Co., Cotton Exchange,	”
L. L. Prince, 106 So. Main St.,	”
Ruegg & Co., 100 So, 4th St.,	”
St. Louis Cotton Exchange, 101 So. Main St.,	”
Senter & Co., 3rd St. and Walnut,	”
Geo. Taylor Commission Co., Cor. Main & Walnut,	”
John Thompson & Co., 101 So. Main St. Cotton Exchange, St. Louis.	
J. T. Watson, 101 So. Main St.,	St. Louis, Mo.
T. C. Witherspoon, 101 So. Main St.,	”
A. L. Wolfe & Co., 101 So. Main St.,	”

COTTON COMMISSION.

Allen West Commission Co., 104 So. Main St.,	St. Louis, Mo.
Gilkeson Sloss Commission Co., Walnut & Commercial Sts.,	St. Louis.
Hill, Fontaine & Co., 116 So. Main St.,	”

シテ取組者ノ便ニ供ス

精白品	全九錢以下	原價	一ヤードニ付	二錢五厘
全	全九錢以上	原價	一ヤードニ付	三割半
染タル者	全十二錢以下	原價	一ヤードニ付	四割
全	全十二錢以上	原價	一ヤードニ付	三割半
全五十系以上百系以下		原價	一ヤードニ付	三割
不精白不着色價六錢五厘以下		原價	一ヤードニ付	二錢二厘五毛
全	全六錢五厘以上	原價	一ヤードニ付	三割
精白品	全九錢以下	原價	一ヤードニ付	三割半
全	全九錢以上	原價	一ヤードニ付	三割
染タル者	全十二錢以下	原價	一ヤードニ付	四割
全	全十二錢以上	原價	一ヤードニ付	三割半
全百系以上百五十系以下		原價	一ヤードニ付	三割
不精白不着色價七錢五厘以下		原價	一ヤードニ付	三錢
全	以上	原價	一ヤードニ付	四割
精白品	全十錢以下	原價	一ヤードニ付	四割

全	全十錢以上	原價	一ヤードニ付	四割
染タル者	全十二錢五厘以下	原價	一ヤードニ付	五割
全	以上	原價	一ヤードニ付	四割
全百五十系以上二百系以下		原價	一ヤードニ付	三錢五厘
不精白不着色全八錢以下		原價	一ヤードニ付	四割半
全	全八錢以上	原價	一ヤードニ付	四割半
精白品	全十錢以下	原價	一ヤードニ付	四割半
全	全十錢以上	原價	一ヤードニ付	四割半
染タル者	全十二錢以下	原價	一ヤードニ付	五錢五厘
全	全十二錢以上	原價	一ヤードニ付	四割半
全二百系以上		原價	一ヤードニ付	四錢五厘
不精白不着色全十錢以下		原價	一ヤードニ付	四割半
全	全十錢以上	原價	一ヤードニ付	四割半
精白品	全十二錢以下	原價	一ヤードニ付	五錢五厘
全	全十二錢以上	原價	一ヤードニ付	四割半

白米	算盤	提燈	樂器	漆細工	紙製品	竹木彫刻物	絞染物	刺繡物	絹布ト同シ	絹ハ絹 綿ハ綿ト同シ	種類ニヨリテ全一ニ非サレモ大概原價三割半ナリ	全上	全上四割半ヨリ三割半	其種類各別ニシテ頗ル繁雜ナレモ大概三割半ナリ	共ニ玩具器トシテ三割半ナリ	一斤ニ付	二錢
----	----	----	----	-----	-----	-------	-----	-----	-------	------------	------------------------	----	------------	------------------------	---------------	------	----

玄米	全	一錢二厘五毛
粉	全	七厘五毛
大麥	凡一ツセルニ付	三十錢
小麥	全	廿五錢
茶	無稅	
屏風紙製品	ハ三割半ニシテ刺繡屏風五割彫刻物農産等ハ其物品ニ就テ割合ヲ異ニスルナレモ一割半以上三割半迄ナリ	

運漕

合衆國ニ向テ運搬スル商品ノ輸送ハ桑港及ヒ英領晚高坡ト横濱間ヲ往復スル汽船ニ積載シ桑港若シハ晚高坡ヨリ大陸鐵道ヲ經テ紐育費拉特費波士敦千籠等ニ至ル線路之ヲ急便トシ出荷ノ日ヨリ一月以上一ヶ月半ノ日子ヲ費ス(運賃ハ別表ニ掲ク)次ハ「スエス」ノ運河ヲ經テ歐洲ヲ廻リ大西洋ヲ經紐育等ノ諸都府ニ至ルモノニシテ是モ又汽船ニハアレモ航路ノ迂回スルヲ以テ二ヶ月半乃至三ヶ月ノ日子ヲ費スモノナリ第三ハ帆船ニテ喜望峯ヲ廻リ若シハ合衆國ヲシント州ヲコマ港ヲ經テ墨西哥灣ニ出テ大

西洋海岸ノ都府ニ至ルモノナリ
賃金

桑港、晚高坡迄雜貨運賃壹噸ニ付(目方ノ輕キモノハ四尺立方尺目方ノ重キモノハ二百四十貫)

米金八弗

桑港、晚高坡ヲ經テ合衆國東部紐育千籠等ノ諸都府迄

米金拾四弗

スニス運河ヲ過キ歐州ヲ經テ紐育等ニ至ルモノハ

四十シルリングヨリ四十五シルリング

但一シルリングハ米金廿五錢弱ニシテ

此米金十弗ヨリ十一弗トナル

帆前船

廿シルリング

此米金五弗弱ナリ

前運賃ノ如キハ荷物ノ高ニ依リ會社ニ向テ相談ヲナセハ割引ヲナスヲアリ帆前船ノ如キハ橫濱神戸共ニ多分ノ荷物ヲ積入レントスルモノ三五申合セ一艘帆船ヲ(二千五百噸積若シハ三千噸積)壹万五千弗或ハ二万弗ニテ買切リ荷物ヲ運搬スルヲアリ此船ノ積合セ荷物ノ中ニ投スレハ運賃頗ル

低廉ニシテ輸送スルヲ得ルモノナリ

歐州大陸運ノ賃ハ

四十シルリング

英倫敦迄

金拾五圓

佛馬耳塞

馬耳塞ヨリ巴里迄ハ運賃着地拂ニテ其割合ハ三十五マールナリ

露聖彼得堡迄

七十五シルリング

全ウイニストリースト迄四十シルリング

小荷物運賃ハ

紐育迄

桑港

斤量

一弗八五

一弗五〇

一斤以下

二弗

二斤同

二弗一五

三斤同

二弗三五

四斤同

二弗六五

五斤同

二弗六五

七斤同

三弗一五	一〇斤同
三弗八五	一五斤同
五弗	二〇斤同
六弗二五	二五斤同
七弗五〇	三〇斤同
八弗七五	三五斤同
一〇弗	四〇斤同
一一弗二五	四五斤同
一二弗五〇	五〇斤同
西班牙領馬尼刺及倫敦迄	
一弗	一フート以下
一弗五〇	十斤以下
二弗	廿斤以下
二弗五〇	三十斤以下
三弗	三フート以下

三弗五〇

五十斤以下

海上保險料

歐洲各港ハ

百圓ニ付金七拾五錢

北米合衆國ハ

全 金五拾錢

但シ普通保險ノ外ニツイサアベレトシインシウランスト唱フルモノハ各段保險ニシテ百箇中ノ一箇破損スルモ其損害ヲ償フモノナリ是ハ其物品ト代價トニ依テ差違アレハ出荷ノ際會社ニ就テ談判スルヲ着地フロカー手数料 一度二弗以上三弗

此フロカーナルモノハ合衆國輸入税關ノ手續ヲナサシムルモノニシテ荷物ノ多少ニ依テ大ニ差違アリ

税關藏敷ハ壹噸拾錢ヨリ三拾錢ナリ

此税關藏敷ナルモノハ商品到着スルヤ荷物ノ全體又ハ其中ノ幾分ヲ税關倉庫ニ預リ商品ノ検査及ヒ納税ノ手續ヲナシ荷主へ荷物ヲ後スモノナレハ必ス此藏敷料ハ拂ハサルヲ得サルナリ尤モ一周間以内ニ右ノ手數ヲ濟シタルトキハ藏敷料ヲ拂ハス

横濱神戸共ニ積立費用ハ壹噸ニ付二十錢ヨリ三十錢迄ナリ
横濱神戸兩港ニ於テ開通社ニ積出方一切ノ事務ヲ依頼スレハ原價百圓ニ
付金壹圓以下ナリ

原價千圓ノ商品ニシテ積嵩一噸ノ物品ヲ紐育送輸送スルコ付テノ一例ヲ
示ス

- 一金五十圓 日本輸出税
- 一金拾圓 荷造費用箱代共
- 一金五圓 横濱ニテイソホイス調製等開通社手数料
- 一金五十錢 積出費用
- 一金貳圓五拾錢 領事証明手数料
- 一金五圓 海上保険料
- 一金拾四弗 運賃
- 一金四百五拾圓 合衆國輸入税(七寶税四割半ヲ以テ算ス)
- 一金五弗 フロカー手数料
- 一金三弗 陸上運賃ヨリ藏敷費用ヲ合セタルモノ

金五百六十二圓六十錢 但シ米金壹弗ハ日本金一圓八十錢

是ハ其大略ヲ示シタルモノニシテ荷物々品ニヨリ其費用ヲ増減スルモノ
ナリ

茶ノ荷送りハ七十斤或ハ八十斤詰チ一函トナシ此函十三箇ヲ以テ一噸ト
ス然シテ荷造函代トシテ一ピツクル(百三十三ポント)通常四弗半ト定ムル
モノ、由ナレモ荷嵩多キ注文主ニ對シテハ三弗半迄低減スルコアル可シ
ト云フ運賃ハ一番船出帆ノ頃ハ一斤三錢内外ヨリ初リ二番船二錢五厘内
外五月下旬ヨリ六月上旬ノ頃ハ一錢七厘五毛ヨリ一錢五厘ニ至ル又歐洲
廻リノ汽船ニテハ一噸五十シルリングニ始リ四十二三シルリング乃至三
十五六シルリング最終コハ三十シルリング迄底減スルコアリト云フ

商品販路ノ景况

將來輸出ノ見込アル商品ハ七寶器、陶磁器、生糸、絹織物、附手巾、刺繡物、竹彫刻
品、漆細工、提燈、茶、米、麥稈細工、刺縫屏風ノ各種ニシテ其輸出ノ方法ハ前販路
擴張方法ニ於テ陳述シタル如ク合衆國各府市ニ商店ヲ開キ直輸出ノ方法
ヲ採ラスンハ前途遠延ノ大目的ヲ果タス能ハス

各商品ニ對スル會好ノ適否ニ至テハ實ニ至難ノ一事ト云フベシ博覽會開
 場中ノ現況ヲ以テ以ハ、七寶ノ如キハ總テ近來輸出向キト唱フル花鳥薄
 色ノ模様ハ歐米國人共ニ希望スルモノナラントノ想像相反シ五六年前迄
 流行シタル緻密ナル小形ノ模様ニ間色ノ濃色ナル者ヲ好メリ時トシテハ
 無彩ノ黃色或ハ淡紅色ナル者ヲ望ムモノモアリ又紐育費拉特費等ニ到リ
 見聞スル處ニ據レハ磁器ノ如キハ目今無光澤即チ象牙色(ロイヤル、ウルス
 ター)ト唱フル藥ヲ掛ケ盛リ上ケ模様ヲ畫付タルモノヲ賞美ス白地ニ淡紅
 淡青ノボカシ色ヲ燒付ルモ亦流行ノ一タリ米國ハ總テ英佛ノ流行ヲ追フ
 モノナリト雖モ其流行ノ變化頗ル甚クシク服裝ノ如キハ年々流行改マリ
 磁器等ノ如キ品ニテモ二年若クハ二年半ニシテ變化ヲ來タスモノナリ余
 ハ紐育ニ至リタル頃某商人ニ就テ衣服ハ如何ナル色ノ流行スル歟ナ問ヒ
 タルニ今期夏服ノ色ハ薄紫色ナリト答フ余來冬ノ色ハ何色ノ流行スヘキ
 カナ問フニ氏ハ笑テ曰ク今日ニ於テ冬服流行色ヲ先知スルヲ得ハ直ニ
 百万二百万ノ資産ヲ得ルハ容易ナレト決シテ知ルヲ能ハスト云ヘリ左モ
 有ルヘキヲナリ紐育等ノ商家ニテハ嗜好ノ適否ヲ知ラントスルニ夥多ノ

費用ヲ擲チ一般ノ向不向ヲ探索スルヲニ熱心ナル實ニ驚ク可キヲナリ又
 流行ナルモノハ自然ト人爲トノ間ヨリ來ルモノニシテ或時ハ自然ヨリ來
 レリ而シテ人爲ヨリ來ルモノハ新聞ニ雜誌ニ數万ノ費用ヲ散シ流行ヲ作
 リ出スモノナリト云フ英國ノ皇族中ニ「ウエルス親王ト云フアリ此人英傑
 ニハ非ラサレモ女皇ノ愛子ニシテ頗ル洒落者ナルヨリ奇ナル風俗ヲ好ミ
 常人ノ用ヒサルモノヲ探リ出シ着用セシカ總テ珍敷物ヲ好ムハ人世ノ情
 ナルニヨリ「ウエルス親王ノ着用品珍敷トテ世間之ヲ用ユルヲ始メトシテ
 爾來「ウエルス親王ノ用ユル物ハ流行スルヲナレリ帽子又ハ衣服粧裝品
 等ヲ製造シ販賣スルモノハ此ノ「ウエルス親王ニ近付キ新工風ノ帽子等又
 ハ衣服ヲ奉リ之ヲ用ヒラル、ヤ直ニ新聞ニ雜誌ニ其風俗ヲ賞讚シ終ニ一
 ノ流行品トナシ大ニ利ヲ博スルヲ問々アリト云フ流行變化ノ早キ一例ヲ
 云ヘハ男子ノ襟(カラ)一ケ年ニ四回(三ヶ月毎)全袖口(カフス)一ケ年二回(暑寒
 毎)衣服ハ男女共ニ年々暑寒共ニ改マリテ昨年ノ服ハ本年用ヒスト云フ故
 ニ日本製ノ絹布ノ如キハ地厚ニシテ丈夫ナルハ賞ス可キモノナレ共價不
 廉ナレハ衣服ニハ用ヒラレズ大概椅子或ハ「ソハ等ニ張付ルニ應用セラル

ノミ衣服ニ用ユル絹織物ハ極薄ク極輕グ一日美麗ニシテ價ヒ廉ナルヲ要ス手巾ハ(ハンカチーフ)ノ如キモ日本ニテ上等ノ品ト云ヘハ織綾ニ工風ヲ凝シタルモノナキニシモ非スト雖モ大概高價ニ昇ルト全時ニ重量ヲ増スモノナリ英佛米等ニ於テ製シタル(ハンケチーフ)ハ價高キニ昇ルモ重量ヲ増スニ非ス織綾ト色採リノ新案ニ據テ高價ニ賣出スモノナリ試ニ外國製ノ上等ハンケチーフト日本製ノハンケチーフト對照シテ見レハ其重量二倍以上三倍ニ至レリ(譬ヘハ日本製ノモノハ一圓ニ付重量十匁乃至十五匁ナルニ外國製ハ七匁乃至五匁以内ニ降ルモノナリ)故ニ十匁重量アル品ヲ一圓ニ販賣スルト五匁重量アル品ヲ一圓ニ販賣スルトハ原質ニ於テ一倍ヲ利スルモノナリ是皆流行ノ機ニ投スルト美術工藝ノ致ス利益ナリ陶磁器ノ如キモ人皆十實用品ヲ製出セサレハ販路狹シト研究怠ラサルモノナレモ近時米國市上ニ於テ販賣セラル、日用品ノ廉價ナルヲハ日本製作品ノ及ブ處ニ非ス故ニ余ハ日用品ノ廉ナル品ニ工風ヲ費ヤサンヨリハ寧ロ美術工藝ノ貴澤品ニ属スル高妙ナル品ヲ製出センコトヲ目的トシ之ヲ製出スルノ手續トシテ廉價ナル日用品ヲ製造スルヲ以テ順序ナリト思

惟ス余ハ「ニューシヨルジョー州トレントン市ワイレイトツ會社」ノ陶器製造所ヲ訪ヒ工場ヲ見ルニ先ツ形及ヒ模倣工案部、銅版彫刻部、銅版畫附部、描畫部、挽物部、煉土部、蒸氣々罐場、燒窰場、荷造場、事務所ノ各部ニ職工男女三百人餘ヲ使用シ居レリ而シテ物品置藏石炭藏ハ皆ナ運河ニ沿フテ建築セリ日本今日ノ製作ハ其物品其物ニ就テ改良ヨリハ寧ロ製場方法ノ改良ニ注意セサル可カラズ陶磁器工場ノ如キハ第一運搬ノ便ヲ謀ラサル可カラズ陶磁器ハ土ト薪炭トヲ以テ製造スルモノニシテ運搬ノ便否ハ工場ノ興廢ニ大關係ヲ有スルモノナリ我縣下瀬戸ノ如キハ日本瀬戸物ノ一大工場ニシテ日本物産製出ノ一大要地ナリ然レモ此地ハ山間ニシテ運搬ノ便惡シ、往昔ハ近傍ニ土ト薪トヲ有スルノ地也シテ今日ノ如キ繁盛ヲ來セタルモノナレトモ中古盛大ナルニ隨テ薪材缺乏シ來レルヲ以テ依然今日ノ如ク日月ヲ經過セハ工業ノ萎縮スルニ至ルヤ明ナリ此工業ヲシテ救済セントスルニハ運河ヲ開鑿スルヲ以テ第一トスルモノナレモ若シ運河ヲ開鑿スル能ハサレハ鐵道ノ敷設ヲ爲サ、ル可カラズ而シテ其資金ノ如キハ國庫ヨリ無利子償却ノ方法ヲ以テ貸與スルヲ當然ノ事トス譬ハ廿萬圓ノ金

無利子ニシテ貸與スルモ年々五朱ノ償却ヲ爲サシメハ廿少年ニシテ償却シ終ルモノニシテ三十万圓ノ貿易品ヲ製造セハ年々外國ヨリ日本ニ向テ三十万圓以上ノ正金ヲ輸入スルモノナリ國庫ハ其利子ノ四五万圓ヲ損スルモ國民ノ業ヲ進メ加フルニ海外ヨリ正金ヲ永遠ニ輸入スルモノ其利害ハ識者ヲ得テ知ルモノニ非ス英國ガ國債多キニモ拘ハラズ地球上ニ雄飛セル政府自ラ損害ヲ願ヒス常ニ國ノ内外ニ就テ利害ヲ鑑ミル所以ニシテ獨乙カ急速ノ進歩ヲナシタルモ皆此ノ政略ヲ採リタルニ外ナラス或人ハ日本ノ商人若シクハ工業家カ因循頑愚ニシテ外國人ノ如キ奮發心ナキヲ以テ商工業共ニ發達セスト云フト雖モ今瀬戸ノ陶磁器製造者ニ向テ運河ヲ開鑿セヨ鐵道ヲ敷設セヨト勸ムルモ出來得ルコトニ非ス新ル公共事業ハ暫ク措キ「トレントン市」ノ「ワイレット」會社ノ如キ組織ヲナセト云フモ出來得ヘカラサルコトナリ何レノ國ニ於テモ其先導者ハ皆ナ政府ナリ合衆國カ輸入保護稅ヲ課シテ内地ノ農工業ヲ助クル英國カ殖民地ヲ開キ内國ヲ利スル皆ナ全一般ナリ日本ハ人ニ就テ保護ヲ與フ歐米諸國ハ事業ニ向テ保護ヲ與フ其差違終ニ國ノ盛衰ニ及フヤ當然ノ事ナリ「費拉特費府窓掛敷

物製造ノ「ジョン、フロムリー」會社ノ如キ四十年前ハ夫婦ニテ織ニ手織機械ヲ以テ窓掛クヲ織リ押車ヲ以テ市中ヲ賣リ少ルキタルモ目今三町歩ノ地面ニ五層ノ大工場ヲ建廻シ三百五十馬力ノ蒸氣機械ヲ据付七百有餘ノ職工ヲ使役シ一千臺ノ機械機械ヲ置キ五百餘万圓ノ資本ヲ有スルニ至リシハ決シテ只ニ其人ノ勉強ト耐忍ノミノ爲シタルモノニ非ス工業ハ干渉ト保護トニ據ラスンハ決テ發達セヌ亞米利加ノ自由國ニ甚敷輸入保護稅ヲ外國人ヨリ徴収スル謂レナキニ非サルナリ

商品改良スヘキ要点

改良ノ要点トシテハ各自其物品ニ就テ差別セサレハ一定ノ方法ヲ示ス能ハスト雖モ陶磁器七寶織物ノ摸樣中人物ノ如キハ唐子ト唱フル小兒畫ヲ除クノ外北齊ノ畫ニ據ラサルモノハ大方外國人ノ眼ニ適セヌ日本人物畫ハ眞ノ寫生ニ非スシテ一種ノ畫風ヨリ來リタルモノナレハ外國人ノ眼ニハ如何ニモ奇ナル思ヒ起セリ人ヲ畫キテ人ニ似サルノ感アリ人物ヲ摸樣セントスルニハ体格ノ善キ人ヲ「モデル」トナシ甲冑ナリ裝束ナリ着用ナサシメ之ヲ寫生シ若クハ寫眞ヨリ畫ニ寫シ來リタルモノヲ摸樣スルニ非サ

レハ決テ外國人ノ眼ニ適セス七寶、陶磁器、刺繡ノ如キモ尤モ注意スヘキモノハ配色ニシテ譬ハ黒キ色ト紫トヲ併セ白ト黄ト混交シ青ト緑ト並ニ赤ト茶褐色ト相隣スルカ如キハ尤モ宜シカラス總テノ模様ニハ色ノ配合ニ就テ其價格ノ上騰シ大ナル影響ヲ及スモノナレハ大ニ注意シテ怠ラサルベキモノナリ其他改良ノ点ニ就テハ紙上ニ記述シテ却テ製造家ニ損害ヲ與フルカ如キ有ルニ至ラン歟何レノ地何レノ家ニテモ奔走ノ勞ヲ厭ハス其物品ニ就テ愚見ヲ陳述センコトヲ希望ス仍テ姪ニ贅言ヲ省クモノナリ視察上ニ最モ至難ナル一事ハ各商品ニ對スル歐米人嗜好ノ適否如何ト云フ事ナリ元來人々ノ物品ニ對スル嗜好ノ如キハ個々容貌ノ相異ナルカ如ク或ハ古キヲ尊重スルモノアリ或ハ新ヲ喜ナル物ヲ好ムモノアリ決シテ一定ノ方向ヲ以テ示ス可キ事ノ出來得ヘカラサルモノナリ故ニ思察上ニ於テ斯様ナル形狀斯様ナル品質斯様ナル着色ノ物品カ歐米人ノ嗜好ニ適スルト云フコトハ容易ニ斷言シ能ハサルモノナリ現ニ該博覽會ニ出品シタル諸種ノ物品ニ付テ一例ヲ舉ケレハ陶磁器販賣受持者某ニ就テ聞ク所ニ依レハ或者ハ青色ノ陶器ハ無キヤト尋テシモノアリ依テ果シテ青色陶

器カ彼ノ國人ノ嗜好ニ適スルモノナランカト云ヒ又一方ニテハ此青色花瓶ノ字模様カ桃色デアアルナラバ買得セント言ヒシモノアリト斯クノ如ク甲ノ場所ニ於テハ桃色ノモノヲ好ムカ如ク乙ノ歩分ニ於テハ紫色ヲ好ムト云フ各自見ル所異ナリ人々區々ニシテ一定セス故ニ是ヲ彼ノ國人ノ嗜好ニ適スルモノナリト斷定スルハ至難ノコト云フ可シ然ル故ニ七寶陶磁屏風等何レモ其實物ニ就テ形模様鈎合ヲ斟酌スルニ非サレハ到底其向キ不向キヲ判定スルコト難シ就中配色ト云フ如キ事ハ頗ル大切ナル事ニシテ一種ノ物品ノ上ニ於テ大ヒニ價值ヲ高下スル事ハ喋々ヲ要セサル處ナリ故ニ製作ノ當時ニ於テ配色ノ如何ニ注意スルコトハ最モ必要ナル一事ナリ明治廿五年ノ暮ヨリ廿六年ノ春ニ向テ米國ニ流行シタル婦人衣服ノ色合ハ薄紫色ナリト聞ケリ然レトモ當時世間ノ婦人ハ悉ク薄紫色ノ衣服ヲ着用スルモノニアラス又近來陶器ノ如キハ淡桃色ナルモノ流行シタリト聞キタレトモ柑色又ハ黃色ノ物品ヲ愛玩スル人ナキニモアラス實ニ嗜好ノ一点ニ付テハ人々個々其趣ヲ異ニシ年々時々變化シテ嗜好ト流行ノ改マルモノナレハ今我輩カ視察ノ上ニ於テ今後必ス斯ノ如キ形斯ノ如キ

摸樣斯ノ如キ色合ノ品カ、流行スルト云ヘルコトヲ明記セハ却テ貿易品製
 造ノ上ニ就テ非常ノ損害ヲ招クカ如キ不都合ナル結果ナキニアラス是レ
 今後外國ニ輸出スル貿易品製造ニ付テ大ニ注意スヘキ一事ナリ製造家及
 ヒ商業家ハ此邊ニ付テ注意ヲス研究ス可キコトニシテ余ハ此一事ニ就テ
 尤モ探聞ヲ勉メ來リタレハ實物ニ就テ協議アラントテ希望ス今回ノ博覽
 會ニ於テ探聞索知セシ事柄ハ云フ迄モナク後來ニ於テモ出來得ルダケハ
 在來ノ知入等ニ照會シテ流行ノ如何ニ移リ行クカナ注意シ其現品ニ就テ
 協議ニ預ルノ勞ヲ省マサル可シ而シテ輸出商品ノ改良スヘキ点ニ付テハ
 嗜好ノ適否ヲ知ルト同様ニシテ日一日ニ改正セスンハ一年前一ヶ月前ノ
 品物ハ既ニ陳腐ニ属スル傾キアリ日本ニ於テハ流行ノ變化歐米諸國等ノ
 如ク甚シキニアラス現ニ合衆國紐育費拉特費亞、華盛頓波敦地方ニ於テ夏
 服ノ革帶ノ如キモノニテモ年々ニ流行ノ改マリ其價格ノ如キモ同シ製造
 同シ手數ノ係リタル物品ニシテ流行ニ先ツモノハ二弗乃至二弗半ノ價ヲ
 爲シ流行ニ後レタル品物ハ一弗若クハ七十五錢ニ低落シ居レリ此ノ如ク
 同シ手數ヲ費シテ製造ヲ爲シタル物品モ流行ニ先立ツ時ハ二倍若クハ二

倍半ノ價ヲ有シ流行ニ後レタル物品ハ三分ノ一若クハ四分ノ一ニ低落ス
 七寶器陶磁器縫屏風等ノ如キハ如何ニモ流行ノ變化少ナキモノナリト雖
 トモ新案珍奇ノ器物ニ於テハ非常ナル價ヲ有スルハ疑フヘカラサル事實
 ナリ今後歐米ニ向テ輸出スル貿易品製造ニ就テハ熱心努力シテ日夜怠慢
 ナカラントテ希望ス而シテ彼ノ歐米人ノ嗜好ニ適シ進ンテ改良セントス
 ルニハ兎ニ角前記擴張ノ方法ヲ示シタル内ニ述ヘタルカ如ク合衆國ニ於
 テハ紐育、波士敦、費拉特費亞、千籠等ノ大都府ニ向ツテ又歐羅巴ニ於テハ倫
 敦、巴里、伯林、維納等ニ販賣店ヲ設ケ一ハ本縣製造ノ物品ヲ販賣シ一ハ外國
 人ノ嗜好ヲ探知改良シ双方氣脈ヲ通シ商業ヲ營ムニアラサレハ貿易品ノ
 擴張ト公私ノ利益ヲ得ルコト覺東ナカルベキモノナリ
 農業ノ如キハ日米全ク其趣キヲ異ニセリ故ニ米國ノ農業耕耘ノ方法ヲ直
 ナニ日本ニ採テ之ヲ施サントスルモ決シテ能ハサルコトナリ若シ是ヲ爲サ
 ハ利スル處少ナクシテ損スル處多カラシカ何トナレハ米國ノ農業ハ半ハ
 開墾ノ意ヲ含メリ而シテ他人ノ所有地ヲ借入レテ農作ヲ爲ス所謂小作人
 ナルモノ殆ント一モ有ルナシ日本ニ於テハ田畑トモニ地租地方稅諸掛多

クシテ一反毎ニ收穫少ケレハ收支相償ハサル場合ナレトモ米國ノ如キハ地租及ビ土地ニ課スル費用少ナク從テ土地ノ價廉ニシテ專ラ開墾ニ勉ム故ニ收穫多カラシヨリハ寧ロ地ヲ廣ク耕スヲ以テ目的トス例令ハ一反ノ畑ヨリ麥二石ヲ穫ルヨリモ二反ノ地ヲ耕シテ二石ノ麥ヲ穫レハ年ヲ違フテ其地ノ價格上騰スルカ故ニ收穫ノ利ヨリ却テ地價上騰シテ利スル所ノ者多シ且ツ農業ニ使役スル人ノ如キモ其雇工甚ク不廉ナルカ故ニ多クハ器械ヲ使用スル器械ノ如キモ多少改正ヲ爲サレハ到底日本ノ狹矮ナル田畑ニ使用スルコト能ハス唯々見本トシテ其器械ヲ買入レ農業家ニ示サハ多少益スル所ナキニシモアラサルヘシト雖モ農具機械ノ如キスラ容易ク買得ス可キニ非ス我縣ニ於テ利益ヲ與ヘントスルモノハ上水器散水器排水器等ナリ今後適當ノ地ニ向テ試驗セントスル者ナリ工業上ニ於テ裨益ヲ與フ可キコトハ尠小トナラスト雖トモ總テ機械壯大ニシテ直ニ之ヲ買得使用スルハ利益アリト雖容易ニ實行シ得可キニ非ス當局ノ實業家ニ向テ該地ノ實況ヲ陳弁シ爾來其物品ニ就テ製作ノ意見ヲ申告スル者トス

○關西水產共進會本縣委員復命書後書

本會ハ關西二府十六縣聯合ノ開設ニ係ル十一月十五日開場十二月十四日ニ閉場セリ關西府縣ニ於テ水產共進會ノ舉アルハ實ニ今回ヲ以テ嚆矢トセリ而シテ其出品ハ八千餘点ニ達シ聯合府縣所產ノ物品ヲ蒐集シ殆ト遺スナシ府縣品類ノ多寡ト製造ノ巧拙トハ固ヨリ同一ナラスト雖モ亦各地自カラ特長ノ点アリ又鯉節、鰻、乾蝦、食鹽ノ如キハ特ニ其面目ヲ改メ海參、乾鮑、田作、煮干、鰯ノ如キモ亦製法改良ノ跡顯然タルカ如シ其他内國需用ノ加工品類中ニモ大ニ佳良ノ品アルヲ覺ヘタリ又開場日數ハ僅カニ三旬ニ過キサルモ來觀者ノ數無慮貳万人ノ多キニ及ヒ實ニ關西地方水產業上裨益スル鮮少ナラサルヲ知ル故ニ本會第二回ノ開設如何ニ付テモ水產集談會ノ際該會ニ同ヒシニ全會一致ヲ以テ開設ヲ希望セリ其間期ト場所トハ府縣委員一同委員長ヨリ内協議アリシカ小官ハ來ル三十年ニハ或ハ我縣等ハ東海農區聯合共進會開設セラル、ニ至ルヤモ難計依テ三十一年ニセンコトヲ述ヘ三重靜岡等モ同説ヲ述ヘタルニ何レモ廿九年ニ早メノコトヲ希望セリ又場所ハ神戸ヲ望ムモノ十中ノ九ナリシ

左ニ開會中重ナル件ヲ掲記ス

愛知縣出品一覽表

部 一 第											
類七第		類六第		類五第		類四第		類二第		類一第	
人員	点数	人員	点数	人員	点数	人員	点数	人員	点数	人員	点数
1	1	1	1	2	3	1	1	1	1	1	1
1	1	4	5	1	2	1	1	1	1	9	14
1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1
5	6	5	13	1	1	1	1	1	1	8	32
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	6
6	7	9	18	2	6	3	2	1	1	22	53

愛知縣受賞人名表

賞等	賞品	出 品 物	郡 村 町 名	姓 名	總 計		部 三 第		部 二 第					
					類一第		類一第		類二第		類三第		類一第	
					人員	点数	人員	点数	人員	点数	人員	点数	人員	点数
三 等	全	淡菜、乾牡蠣	渥美郡 田原町	前田 又平	5	7	1	1	1	1	1	2	1	1
二 等	銀 盃	鯨 猪 粕	幡豆郡 東幡豆村	岡田 兵右衛門	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1
三 等	全	潺美郡 田原町	前田 又平	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1
					6	11	1	1	1	1	1	2	1	1
					8	14	2	5	5	3	5	4	4	

61 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

聯合府縣出品

府縣名	第一類				第二類				第三類				第四類			
	點數	人言	點數	人言	點數	人言	點數	人言	點數	人言	點數	人言	點數	人言		
京都府	五五	一八	六	四												
大阪府	三四	二六	一三	六	二											
兵庫縣	八七	六四	一〇	八	二											
三重縣	三〇七	一五	二六	二	二											
愛知縣	五三	二一	一	一												
靜岡縣	三三	二四	二六	二六	一											
福井縣	三六	二五	三九	二八	三二											
石川縣	五六	五六	八四	七五	三											
島根縣	八六	七二	二五	二六	九											
岡山縣	一四	二三	五七	三二	二五											
廣島縣	八五〇	六三	四〇	二五	二〇											
山口縣	五四	三四	五七	四九	二											
和歌山縣	二九	九七	一九	一四	二											
德島縣	七九	七二	七	四	一											
香川縣	四三	三三	一九	一七	四											
愛媛縣	三五	二四	二九	二七												
高知縣	二二	一〇			一											
大分縣	一三	七四	一一		一											
總計	四書	三器	四充	三五	二七											

全受賞一覽

府縣名	第一等賞		第二等賞	
	點數	人言	點數	人言
京都府				
大阪府				
兵庫縣				
三重縣				
愛知縣				
靜岡縣				
福井縣				
石川縣				
島根縣				
岡山縣				
廣島縣				
山口縣				
和歌山縣				
香川縣				
愛媛縣				
德島縣				
高知縣				
大分縣				
總計				

製表 甲種別出賣點數

第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類	第七類	第八類	第九類	第十類	第十一類	第十二類	第十三類	第十四類	第十五類	第十六類	第十七類	第十八類	第十九類	第二十類	合計
...

府縣別出品賣却點數並價額表

府縣	出品點數	全上價額	賣却點數	全上價額
京都	九〇	四二、八二三	六六	二八、六三五
大阪	四〇九	二三一、〇四〇	一九七	五六、七九八
兵庫	二三五	一〇九、〇〇〇	一一八	二八、〇四五
三重	五〇〇	三七四、三一〇	四三五	一三八、四二一
愛知	一四一	四七、一七七	一一五	三五、四一〇
静岡	五三七	二三八、四九八	五二四	二〇六、四七八
福井	四五四	一二二、〇八三	三九九	八四、八六三
石川	九七九	一五三、二七八	八八八	九九、八二二
鳥根	一四〇	七三、七一八	一〇六	二九、七九八
岡山	三七七	一〇八、九一五	一五九	二六、八六八
廣島	一、一三九	二二〇、五六一	八八四	一三〇、九八〇
山口	八七四	二五〇、三〇五	八五一	二二二、六三五

和歌山	二五二	一〇〇、八二一	九八	三二、五八三
徳島	一七七	六六、七二九	一五一	一五一、三四一
香川	九〇一	二〇九、五六八	五九七	一一九、五六八
愛媛	五四六	二二〇、五二四	五三二	二二二、九八四
高知	一三〇	一〇二、五一八	一〇一	九三、〇七五
大分	一七二	九六、一五一	一一六	五八、〇九八
合計	八、〇五三	二、七六八、〇一九	六、三三七	一、六四六、四〇二

關西水産共進會ノ設備畢ルヲ告ク茲ニ本日ヲトシテ開場ノ興ヲ舉グ夫レ水産ハ實ニ天賦ノ利源ニシテ國家經濟上一口モ苟且ニ付スヘキモノニアラス然レモ其漁獲製法ノ如キ因襲ノ久シキ舊套ニ安ンシ他業ニ比シテ進カニ改良ノ實カ觀ルコト能ハス是レ我關西府縣カ嘗テ相議シ本會ヲ開キタルノ要旨トス而シテ未タ一回ヲ經サルノ今日ニ當リテ出品ノ多キヲ見ル洵トニ邦家ノ盛ト謂フヘシ此レ蓋シ出品諸氏奮勵ノ力ニ歸セサルヘカラス若シ夫レ

其成績ハ他日公正ナル審査ヲ經テ之レヲ知ルヲ得ン聊カ一言シテ式辭トナス

明治廿六年十一月十五日

關西水産共進會事務長

大坂府知事從三位勳三等山田信道

殿下ノ令旨

我國ハ四圍環海ニシテ水族ノ富有ナルコト万国共此ヲ見ス是ヲ以テ近來世上漸ク水産業ノ必要ナルコトヲ感シ其進歩特ニ著ルシキモノナリ殊ニ聯合共進會等ノ各地ニ起ルハ斯業ニ裨補スル所亦少ナカラス今同當地ニ開設セル關西府縣聯合水産共進會ハ審査茲ニ了シ本日ヲ以テ褒賞授與式ヲ舉行スルニ至レルハ彰仁ノ深ク嘉スル所ナリ然レモ我國勢ニ裕フルニ天賦ノ富源尙ホ開撥スヘキモノ前途極メテ多シ當業諸子其レ旃ヲ勉メヨ

審査長薦告

關西水産共進會出品ノ審査爰ニ完結シ本日褒賞授與ノ典ヲ舉ラル 健藏ノ之

ヲ審査長ニ受クルヲ以テ審査ノ成績ヲ具シ謹テ農商務大臣閣下ニ稟ス抑本會ノ出品ハ無慮七千六百三十二点ニ達シ從來地方開設ノ水産共進會中推テ第一トシ其製品大ニ觀テ革メタリ就中改良ノ効ヲ見ルモノハ經節鰯乾蝦食鹽ニシテ海參田作莖干鯧ノ如キモ亦其品位ヲ進メ乾鮑ノ如キハ從來關東地方ノ製品ニ及ハカリシカ近時一二ノ地方ハ漸ク改良ニ勉ムルアリ又北海ノ鱈鱈漁業發達シタルカ爲メ鱈鱈ノ出品ヲ増シ寒天ハ需要ノ増進ニ從ヒ製造把束ノ改良ヲ勉ムルモノアリ之レヲ要スルニ今回ノ出品ハ既往ニ比シテ數等ノ進歩ヲ致セリト謂フモ虛譽ニアラサルヘシ然レモ尙仔細ニ觀察スレハ改良ヲ要スルモノ一ニシテ足ラサルノモナラス聯合内外ノ府縣ヲ對比スレハ進歩大ニ其度ヲ異ニスルアルヲ以テ互ニ相競争並進ヲ勉メサルヘカラス故ニ其優劣良否ヲ甄別シ今後獎勵ノ方針ヲ示スハ實ニ本會審査ノ成績如何ニ關スルヲ以テ不肖健藏審査官及審査員諸氏ト俱ニ詳細精密ニ審査シ優等者千二百四十八名ヲ擇ヒ褒賞ヲ擬案シ既ニ閣下ノ裁定ヲ經タリ依テ謹テ授賞アラソフヲ稟請ス

明治廿六年十二月八日

審査長

與

健

藏

關西水産共進會審査了シ審査長ノ薦告ヲ領シ茲ニ褒賞授與ノ典ヲ舉ク抑水産ノ爲メ特ニ博覽會ヲ開キタルハ明治十六年ヲ以テ嚆矢トシ次テ千葉宮城ニ地方聯合ノ水産共進會ヲ起シ本年亦關西ノ二府十六縣聯合シテ水産共進會ヲ大坂ニ開キ以テ斯業ノ改良發達ヲ圖ラントスルニ至レリ其舉洵ニ善シ且審査ノ成績ニ於テ長足ノ進歩ヲ微證スルヲ得タルハ職トシテ地方官應ノ獎勵ト當業者ノ奮起トニ由ラスンハアラス惟フニ水産ハ我海國ノ一大富源ニシテ殖産興業ノ要務ヲリ當業者益奮勵シテ斯業ノ振興ヲ圖ランコト望ム

明治廿六年十二月八日

右朗讀ス

農商務大臣從二位勳一等伯爵後藤象二郎
農商務省農務局長正五位 藤田四郎

茲ニ關西二府十六縣聯合水産共進會審査畢ルヲ告テ農商務大臣代理臨場褒賞授與ノ典ヲ舉ラレ且懇篤ナル高諭ヲ被ル特ニ

大日本水産會總裁宮殿下ノ親臨ヲ辱フシ賜フニ優渥ナル令旨ヲ以テセラレ
 本會ノ光榮何ソ焉ニ過キン 不肖信道 乏チ本會事務長ニ承テ聯合府縣知事ノ
 總代トシテ謹テ其恩榮ニ答ヘ且聊カ出品人諸氏ニ陳告セントス抑本邦ハ四
 邊環ラスニ海ヲ以テシ漁鹽ニ富ミ採藻ニ饒カナルハ殆ント宇内其比ヲ見サ
 ル所ナルモ海獲製造ノ方法尙ホ未ダ幼稚ニシテ遺利ノ存スルモノ亦尠少ナ
 ラス是レ關西府縣ノ本會ヲ開キ長短得失ヲ講究シ其効果ヲ他日ニ收メント
 スル所以ナリ若シ夫レ成績ノ如何ハ公明ナル審査長ノ薦告アリ敢テ此ニ贊
 陳ヲ要セス但庶幾ハ出品人諸氏小成ニ安ンセス令旨ヲ奉戴シ高論ヲ服膺シ
 奮テ其改良進歩ヲ圖リ進テ販路ヲ海外ニ擴張シ以テ國家ノ富實ヲ増進セン
 コトナ

明治廿六年十二月八日

關西水産共進會事務長

大坂府知事從三位勳三等 山田信道

關西水産聯合共進會ハ審査結了ヲ告ケ本日ヲ以テ褒賞授與式ヲ執行スルニ

方リ此盛典ニ列スルヲ得タルハ保ノ榮トスル所ナリ
 抑水産物製造ノ改良ヲ爲シ販路ノ擴張ヲ圖ラントスルニハ數博覽會共進會
 品評會等ヲ開キ各地ノ生産ヲ蒐集シ其優劣ヲ比較品隣シテ以テ當業者ノ智
 識ヲ啓發スルヨリ善キハナシ是レ既住ノ水産博覽會共進會品評會ニ徵スル
 ニ其改良進歩ヲ見ルコト特ニ著ルシ今同當府ニ開設セル此聯合共進會ヲ見
 ルニ製造物ノ出品ハ第三回内國勸業博覽ノ品數ニ下ラス而シテ其品種ノ精
 良ニシテ改良ノ績顯著ナルモノ甚ダ多シ保ハ今回親シク此情況ヲ觀察スル
 ニ當リ此其結果ヲ見ルコトヲ得ルハ欣喜ニ堪ヘサル所ナリ然レ出品者ニシ
 テ虚譽ヲ一場ニ博スルニ止マリ實際改良ナクシテ懸空實ナクンハ其効果知
 ルヘキノミ故ニ出品者ハ自今茲ニ着眼シテ各力ヲ尽セハ次回ノ共進會ヲ待
 テ實ニ驚クヘキノ改良進歩ヲ見ルコト難カラス果シテ斯ノ如クンハ共進會
 ノ益モ亦大ナリ茲ニ褒賞授與式ヲ舉行スルニ臨ミ聊カ所見ヲ陳シテ祝辭ニ
 代フ

村 田 保

業工		業農					
紙製		汁漆蠟生		他其豆大		地作自畑田 地反地作小	
額金	量數	半	生蠟	穫収	別反	地作小	地作自
二三八〇	三五九二	紙	漆	六六、〇六	八、八七四	四二、四〇一	四六、六五二
八、七五九	一	雜	汁	八二、三七〇	六、七四六	二四、二九五	三四、二二六
二、一三九	三五九二	計	牧	二六、〇〇四	一、八三三	六六、四三六	八〇、七四三
坐吳表疊		疊	所	四、五六九	三、六九八	茶	茶
額金	量數	表	反別	一、八三三	一、四一六	烟	烟
一、九〇一	九、一五〇	吳坐	內種	二、九、八九二	三、九〇〇	反	別
六六五	二五、三五〇	計	雜種	二、六、八三六	二、六、四九六	烟外	見積
二、五五六	二、六五〇〇	製	外種	二、六、八三六	二、六、四九六	別	計
額金	量數	牛	額金	一、六、二四〇	七、二〇二	計	計
一、五一九	四一九	草	漁	一、六、二四〇	七、二〇二	計	計
一、六五五	六九一	馬	鹹水	一、六、二四〇	七、二〇二	計	計
一〇	八	鹿	淡水	一、六、二四〇	七、二〇二	計	計
三、一八四	一、二一八	計	計	一、六、二四〇	七、二〇二	計	計

愛知縣勸業統計一覽表
乙 每五ヶ年目調廿五年分

廿五年調		田畑		園		茶		烟		其他	
額金	量數	田	畑	園	茶	烟	其他	額金	量數	田	畑
一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇
四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇
五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇
六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇
七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇
八、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇	八、〇〇〇
九、〇〇〇	九、〇〇〇	九、〇〇〇	九、〇〇〇	九、〇〇〇	九、〇〇〇	九、〇〇〇	九、〇〇〇	九、〇〇〇	九、〇〇〇	九、〇〇〇	九、〇〇〇
一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇

明治廿七年四月十八日印刷
明治廿七年四月二十日發行

愛知縣

印刷者 杉本喜三郎

愛知縣名古屋市本町九番戶

終

